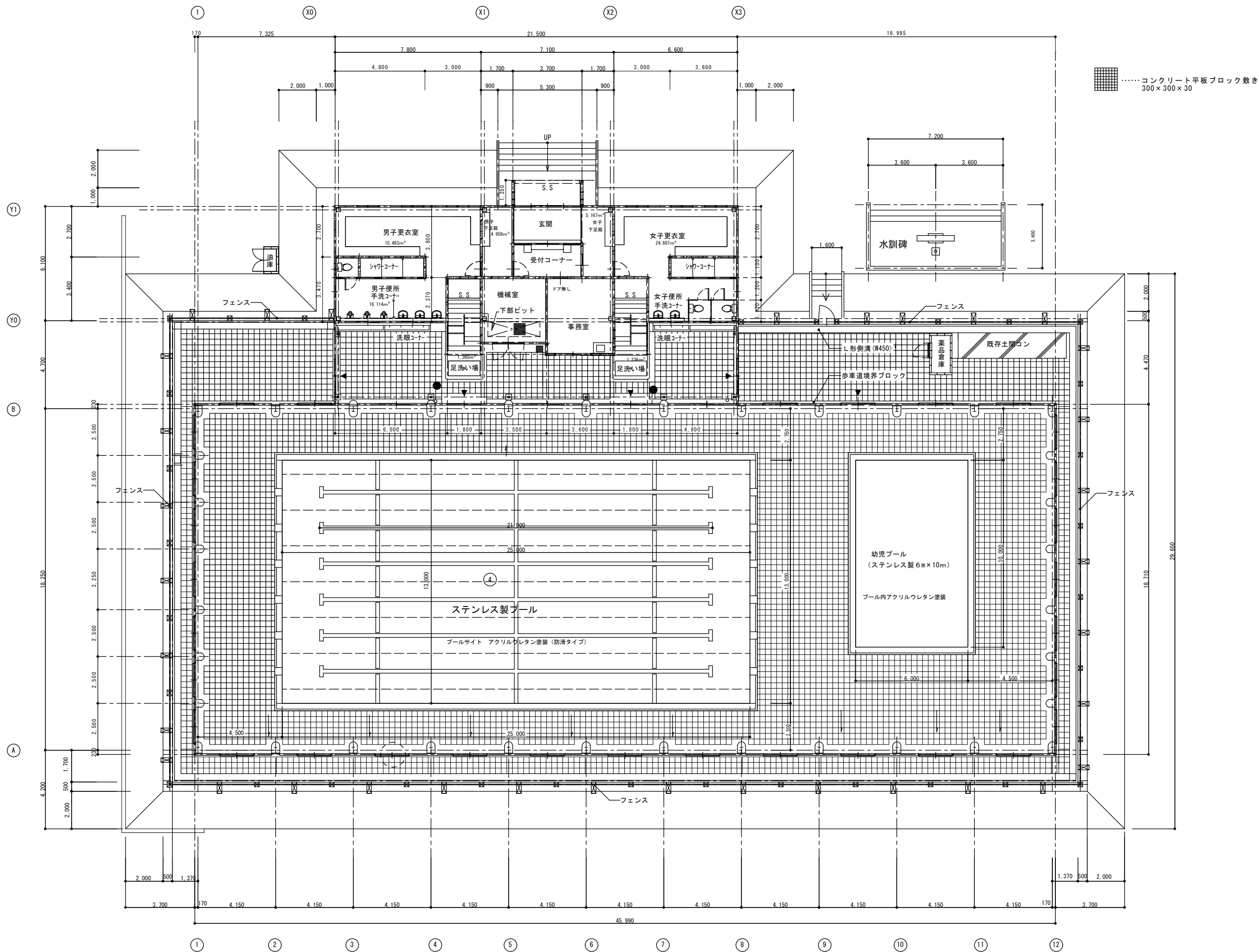


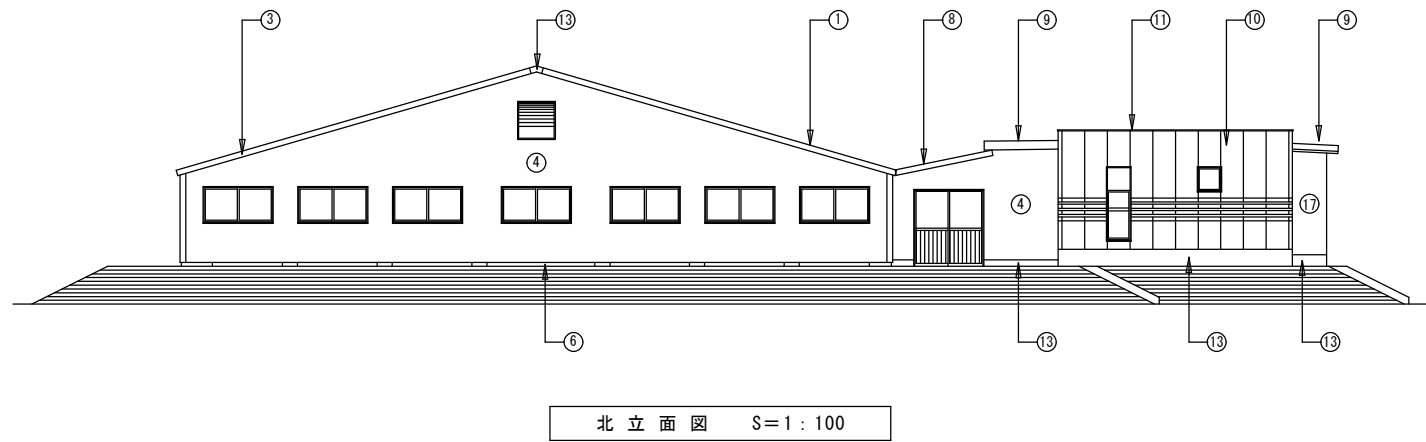
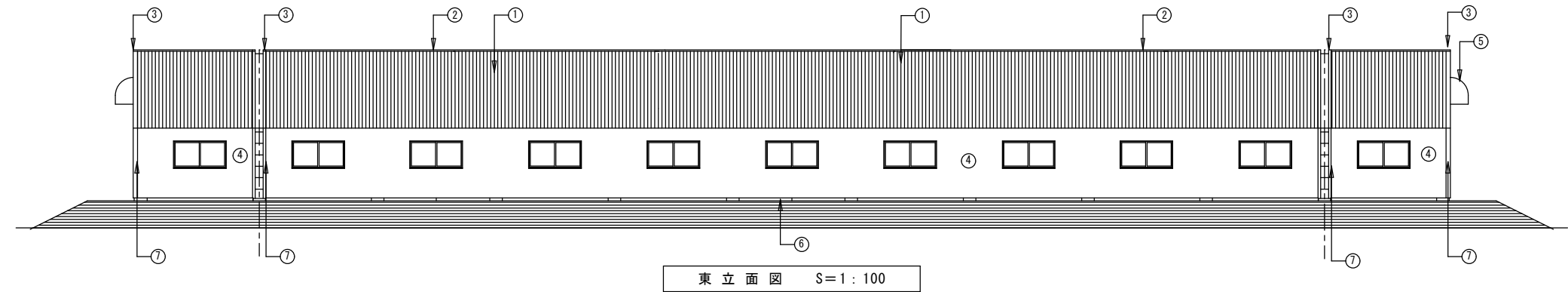
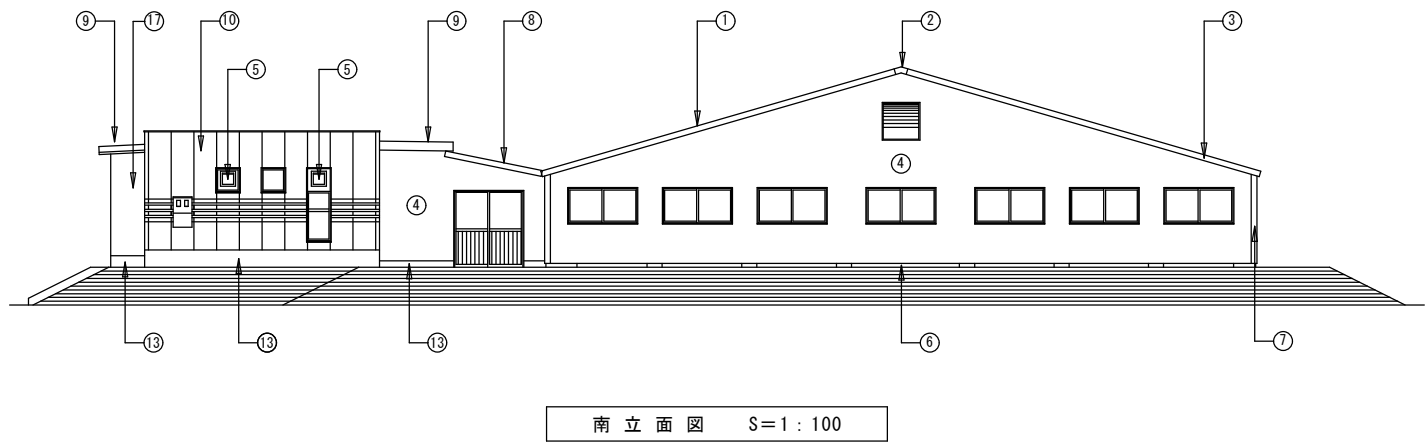
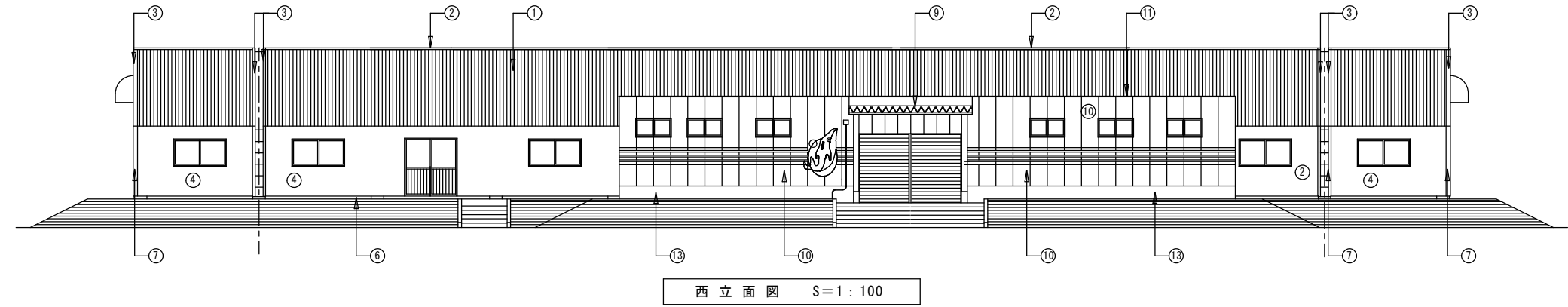
B&G海洋センタープール解体工事

建 築				電気設備・機械設備			
図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A-01	表紙・図面リスト	S-01	基礎伏図（プール棟）	E-01	（プール）屋外配置図	M-01	（プール）機械設備平面図
A-02	解体工事特記仕様書	S-02	基礎詳細図（プール棟）	E-02	（プール）幹線・動力設備平面図		
A-03	工事概要・案内図・配置図・内外部仕上表	S-03	小屋伏図（プール棟）	E-03	（プール）電灯・コンセント設備平面図		
A-04	平面図	S-04	軸組図（プール棟）				
A-05	立面図	S-05	アンカー伏図（プール棟）				
A-06	屋根伏図	S-06	軸組図（更衣室棟）				
A-07	断面図	S-07	鉄骨詳細図（更衣室棟）				
A-08	断面詳細図（1）	S-08	基礎・地中梁リスト（更衣室棟）				
A-09	断面詳細図（2）	S-09	杭・基礎・梁伏図（更衣室棟）				
A-10	建具キープラン	S-10	鉄骨部材リスト・スラブリスト（更衣室棟）				
A-11	建具リスト						
A-12	展開図（1）						
A-13	展開図（2）						
A-14	外構解体図						
A-15	外構図						
A-16	プール備品リスト						
A-17	仮設計画図						
A-18	アスベスト含有仕上材除去工事仕様書						
A-19	アスベスト分析結果						

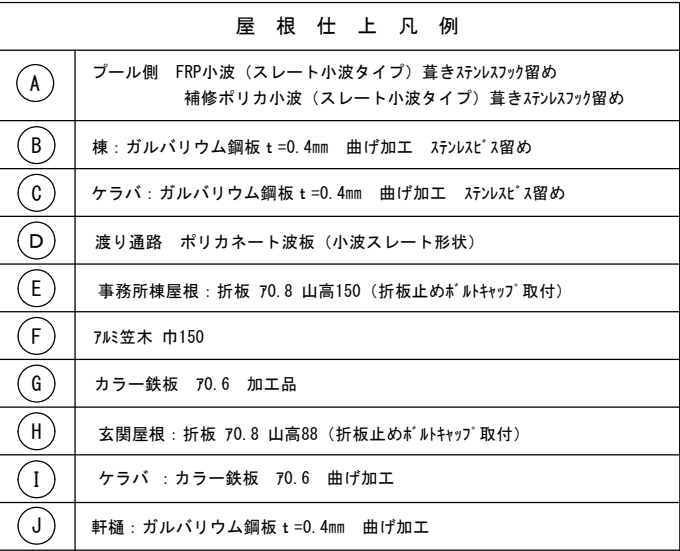


平面図 S=1:100

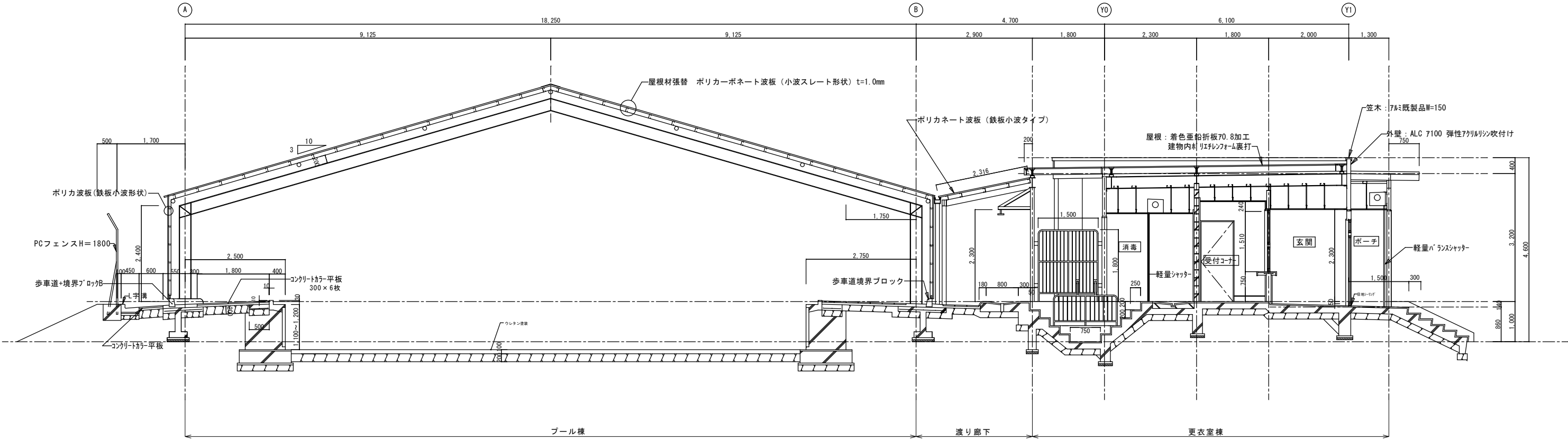
株式会社 下舞設計 鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114				承認 担当責任者	製図	作成年月日 縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	工事名称 B&G海洋センタープール解体工事 図面名称 平面図	一級建築士 白高 雅人 (登録番号 第262818号)	区分 ① B E M NO. 04 JOB NO.
---	--	--	--	-------------	----	------------------------------------	---	--------------------------------	---------------------------------



仕 上 げ 凡 例	
①	ブール棟屋根： ポリカーボネート波板（小波スレート形状）t=1.0mm 【耐風仕様】 ステンレス座金、パッキン ステンビス5×35
②	棟： ガルバリウム鋼板 t=0.5mm 曲げ加工 ステンレス留め【耐風仕様】
③	ケラバ： ガルバリウム鋼板 t=0.5mm 曲げ加工 ステンレス留め 【耐風仕様】
④	ブール棟外壁： ポリカーボネート波板（鉄板小波形状） ポリカ座金、パッキン、ステンビス5×25
⑤	換気扇フード（SUS）
⑥	歩車道境界ブロック（ブール棟通り市木）
⑦	ブール棟外壁コーナー： 角 45° ガルバリウム鋼板 t=0.6mm 曲げ加工 ステンレス留め
⑧	渡り通路屋根： ポリカーボネート（小波スレート形状）
⑨	事務所棟屋根： 着色亜鉛鉄板折板t=0.8
⑩	事務所棟外壁： ALC板t100 下地調整塗材C-1複層塗材E
⑪	笠木： アルミ既製品 W=150
⑫	――
⑬	市木： コンクリート打ち放し
⑭	――
⑮	――
⑯	――
⑰	玄関袖壁： ALCt100 下地調整塗材C-1複層塗材E
⑱	――

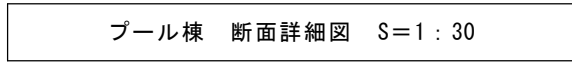


 株式会社 下舞設計 鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114	承認	作成年月日	工事名称	区分 ④ B E M NO. 06 一級建築士 日高 雅人 (登録番号 第262818号) JOB NO.
	担当責任者 製図	縮尺 A1: 1/100 A3: 1/200	図面名称 屋根伏図	

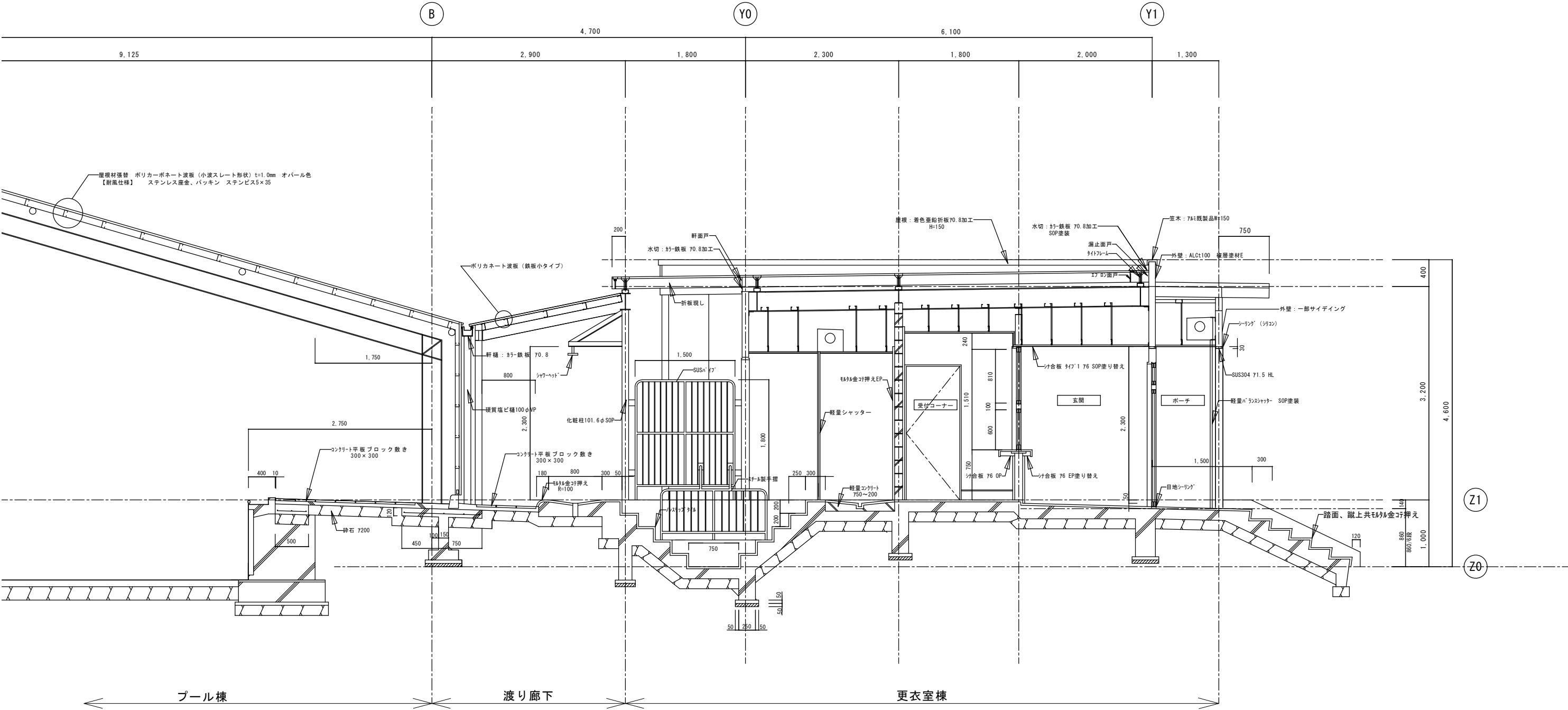


断面図 S=1:50

株式会社 下舞設計 鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114			承認	作成年月日	工事名称	B&G海洋センタープール解体工事	一級建築士 日高 雅人 (登録番号 第262818号)	区分 A B E M NO. 07 JOB NO.
担当責任者			製図	縮尺	図面名称			
				A1: 1/50 A3: 1/100	断面図			

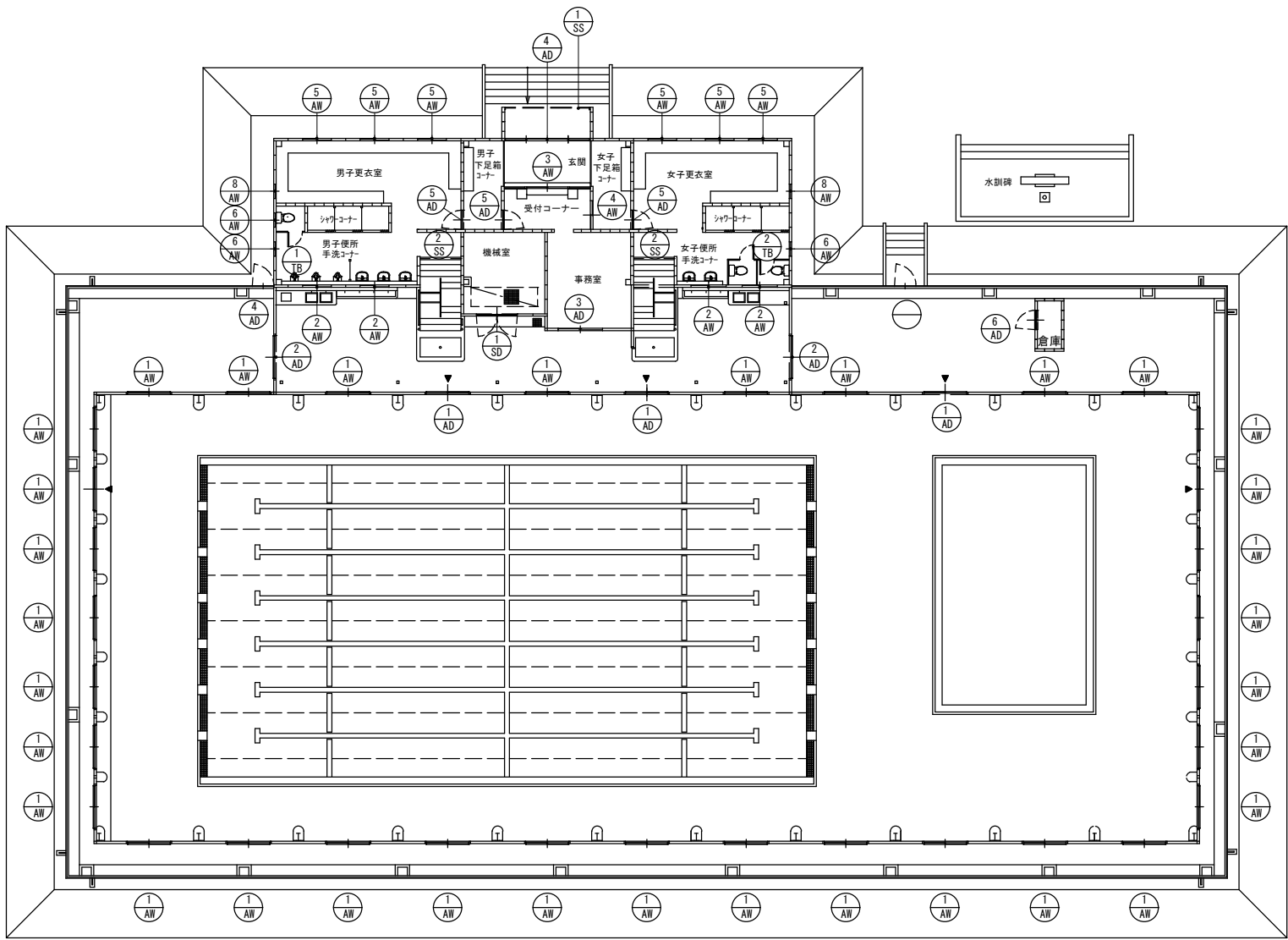


 株式会社 下舞設計 鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114	承認	作成年月日	工事名称	一級建築士 日高 雅人 (登録番号 第262818号)	区分
	担当責任者	縮尺	図面名称		NO.
	製図	A1: 1/30 A3: 1/60	断面詳細図 (1)		08
					JOB NO.



更衣室棟 断面詳細図 S=1:30

株式会社 下舞設計 鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114			承認	作成年月日	工事名称	B&G海洋センタープール解体工事	一級建築士 日高 雅人 (登録番号 第262818号)	区分 ① B E M NO. 09 JOB NO.
			担当責任者	製図	縮尺			
					A1: 1/30 A3: 1/60			

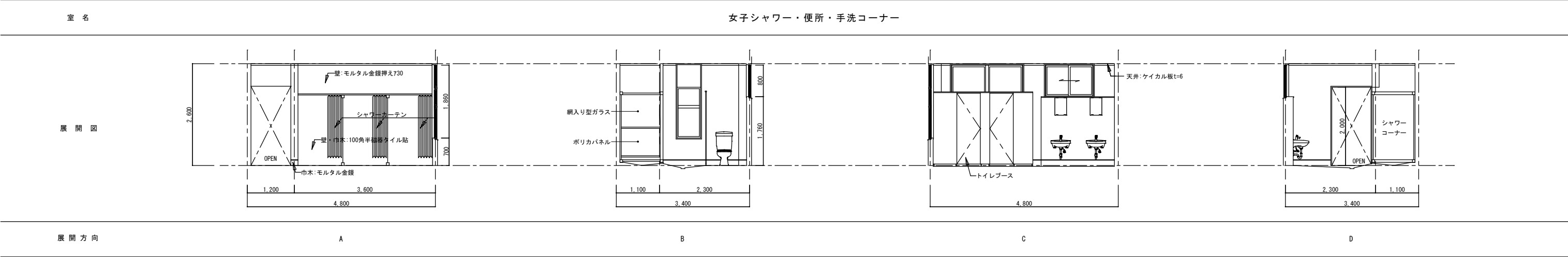
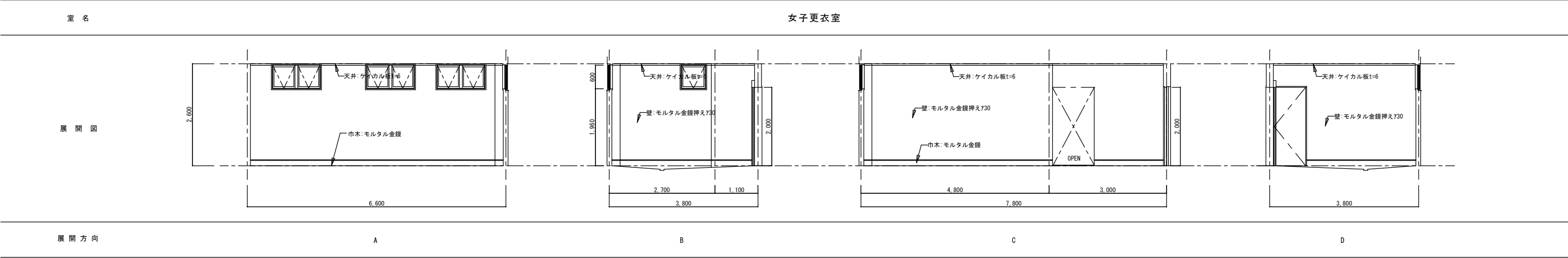
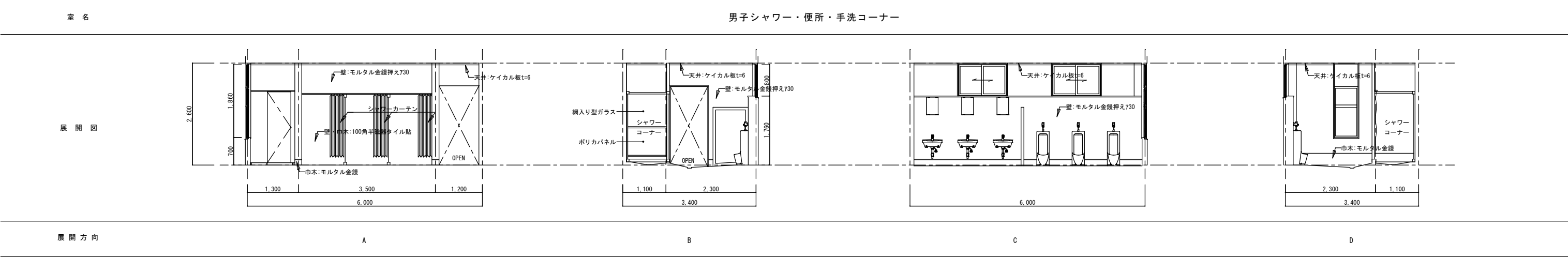
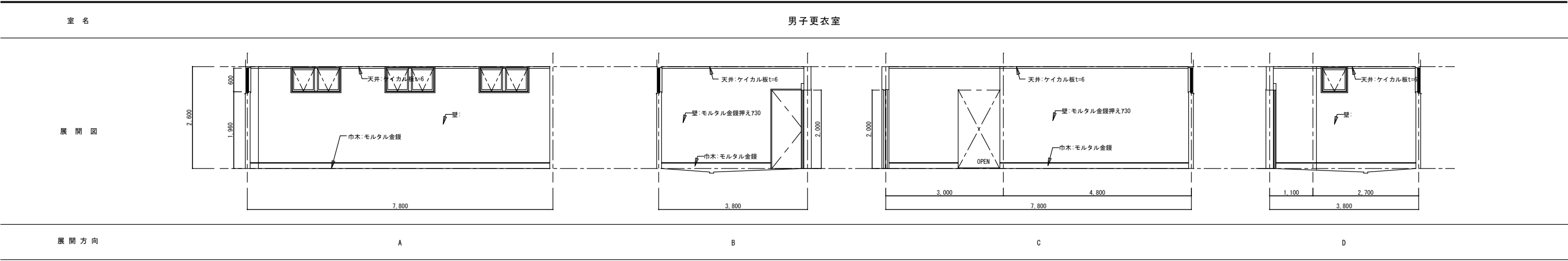


建具キープラン

建 具 表																			S=1/60																									
記号・ヶ所		① AD		プール出入り口			3ヶ所		② AD		渡り廊下			2ヶ所		③ AD		事務室（プール側）			1ヶ所		④ AD		玄関			1ヶ所		⑤ AD		受付コーナー、男女更衣室入口			3ヶ所		⑥ AD		薬品倉庫			1ヶ所		
姿 図																																												
型 式				引違い戸						引違い戸						引違い戸				ランマ付4枚引違い戸					片開きフラッシュ戸					片開き扉														
材 質				アルミ製						アルミ製						アルミ製				アルミ製					アルミ製					アルミ製														
見 込				70						70						70				70					70					70														
仕 上				アルマイト						アルマイト						アルマイト				アルマイト					アルマイト					アルマイト														
ガ ラ ス				ポリカ						ポリカ						透明ガラス				縦入り透明ガラス(ア)6.8										透明ガラス t3														
金 物				引手・戸車・クレセント・腰アルミパネル(7)2						引手・戸車・クレセント・腰アルミパネル(7)2						引手・戸車・クレセント・腰アルミパネル(7)2									ドアチェック					握り玉・丁番・アルミパネル(7)2														
備 考				付属金物一式						付属金物一式						付属金物一式				付属金物一式										付属金物一式														
記号・ヶ所		① AW		プール廻り			33ヶ所			② AW		男女便所～洗眼コーナー			4ヶ所		③ AW		受付コーナー（カウンター）			1ヶ所		④ AW		受付コーナー			1ヶ所		⑤ AW		男女更衣室			6ヶ所		⑥ AW		男子便所			1ヶ所	
姿 図																																												
型 式				引違い窓						引違い窓						アルミ製				アルミ製					2連突き出し窓					突き出し窓														
材 質				アルミ製						アルミ製						アルミ製				アルミ製					アルミ製					アルミ製														
見 込				70						70						70				70					70					70														
仕 上				アルマイト						アルマイト						アルマイト				アルマイト					アルマイト					アルマイト														
ガ ラ ス				ポリカ						透明ガラス t3						透明ガラス(ア)6.8				透明ガラス t3					透明ガラス t3					透明ガラス t3														
金 物				クレセント						クレセント																				透明ガラス t3														
備 考				付属金物一式						付属金物一式						付属金物一式				付属金物一式					付属金物一式					付属金物一式														
記号・ヶ所		⑦ AW		男女便所			2ヶ所			⑧ AW		男女更衣室			2ヶ所		⊖					⊖					⊖					⊖					⊖							
姿 図																																												
型 式																																												
材 質				アルミ製																																								
見 込				70																																								
仕 上				アルマイト																																								
ガ ラ ス				透明ガラス t3																																								
金 物																																												
備 考				付属金物一式																																								
記号・ヶ所		① SS		玄関			1ヶ所			② SS					2ヶ所		① SD		機械室			1ヶ所		⊖					① TB		トイレブース扉			1ヶ所		② TB		トイレブース扉			2ヶ所			
姿 図																																												
型 式				2連手動シャッター						手動シャッター						両開き鋼製フラッシュ戸									片開き扉					片開き扉														
材 質																スチール									熱硬化性樹脂板					熱硬化性樹脂板														
見 込																									13					13														
仕 上																																												
ガ ラ ス																																												
金 物																																												
備 考																ドアチェック									付属金物一式					付属金物一式														

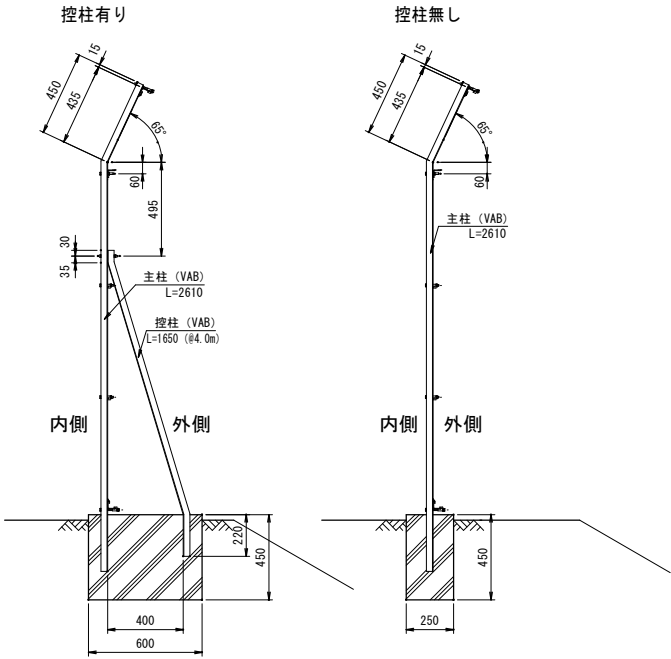
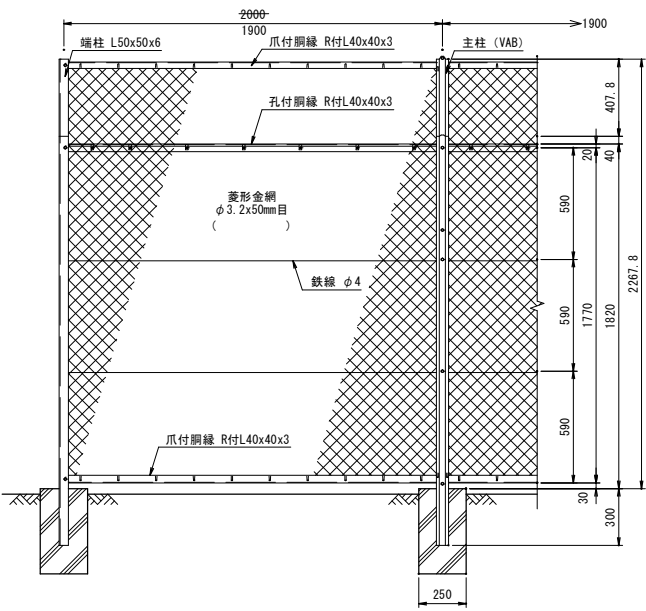
				 株式会社 下舞設計				承認				作成年月日				工事名称				区分			
				鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114				担当責任者				縮尺				B&G海洋センタープール解体工事				一級建築士 日高 雅人			
								製図				A1: 1/60 A3: 1/120				図面名称				(登録番号 第262818号)			
												建具リスト				JOB NO.							

室 名	玄関・男女下足箱コーナー			
展 開 図				
展 開 方 向	A	B	C	D
室 名	受付コーナー			
展 開 図				
展 開 方 向	A	B	C	D
室 名	事務室			
展 開 図				
展 開 方 向	A	B	C	D
室 名	機械室			
展 開 図				
展 開 方 向	A	B	C	D



正面図 S=1/15

側面図 S=1/15

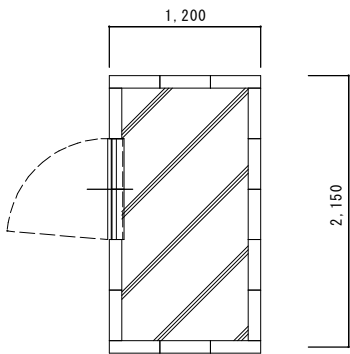


主柱断面図 (VA) S=1/1

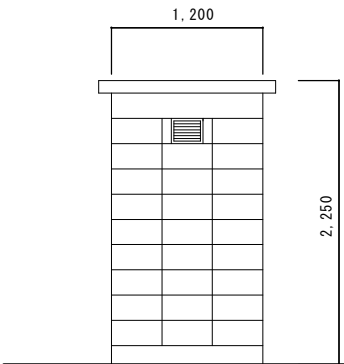
鋼線断面図 S=1/1 (R付 L40x40x3)

薬品倉庫

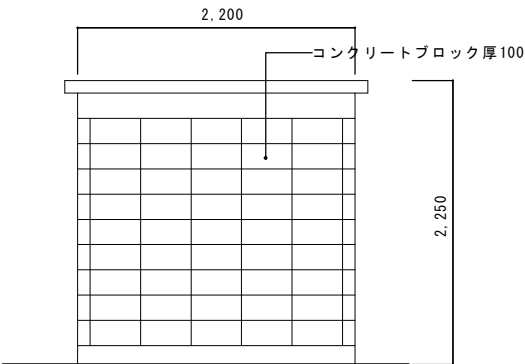
1/50



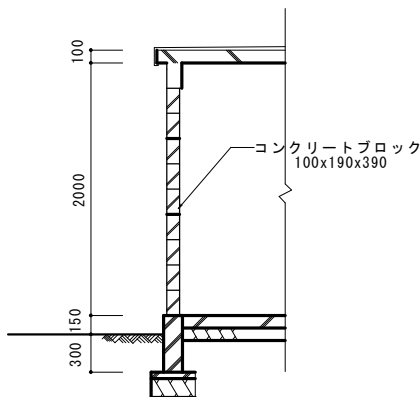
平面図



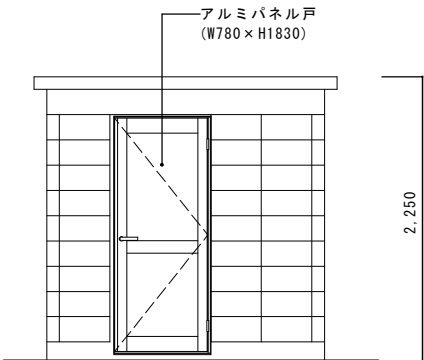
西立面図



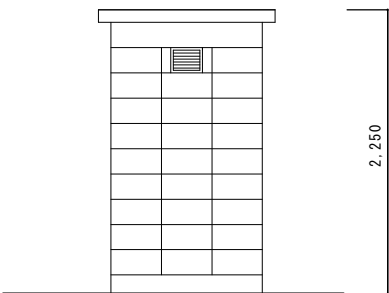
北立面図



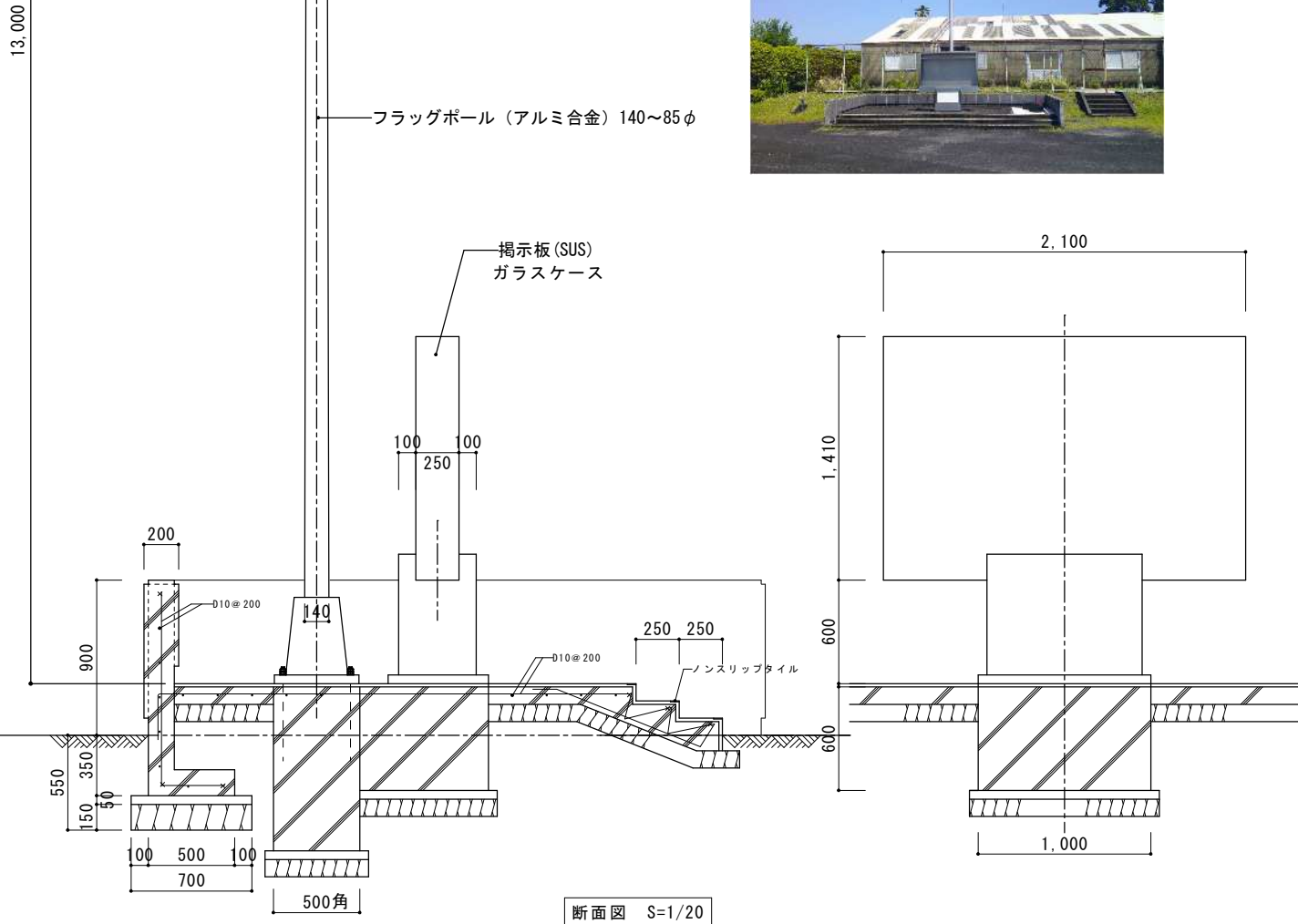
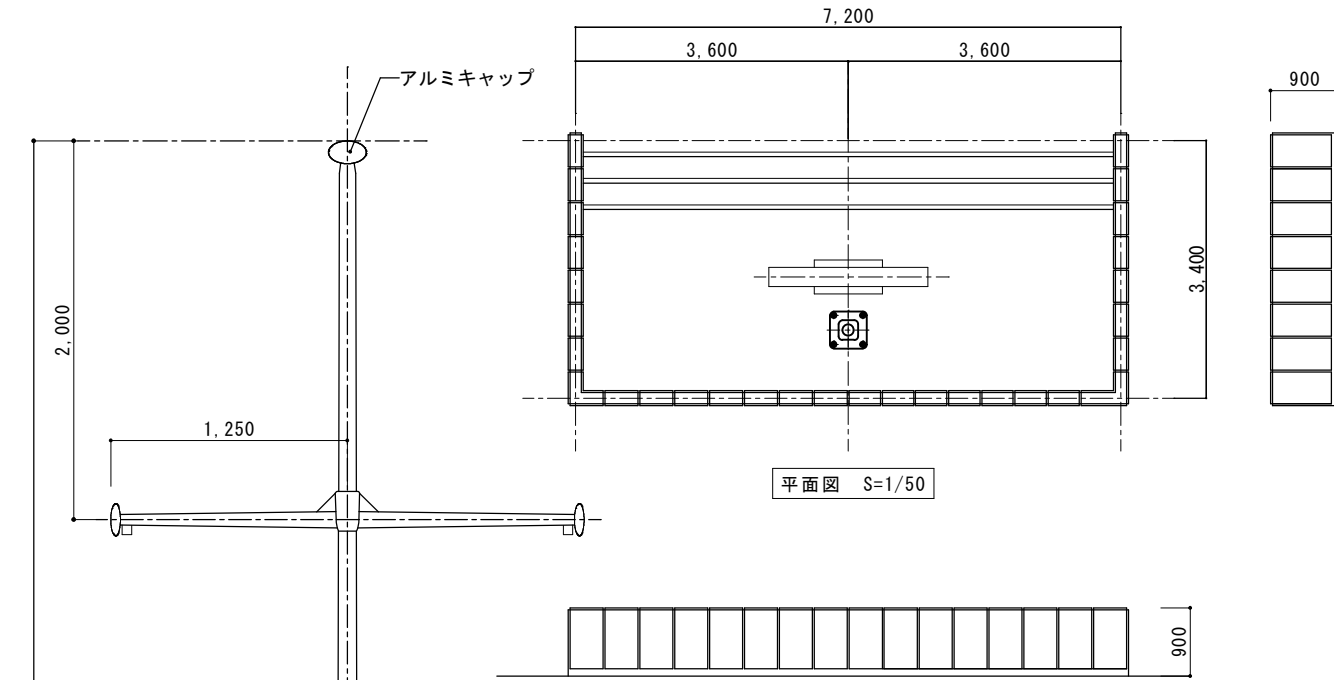
矩計図

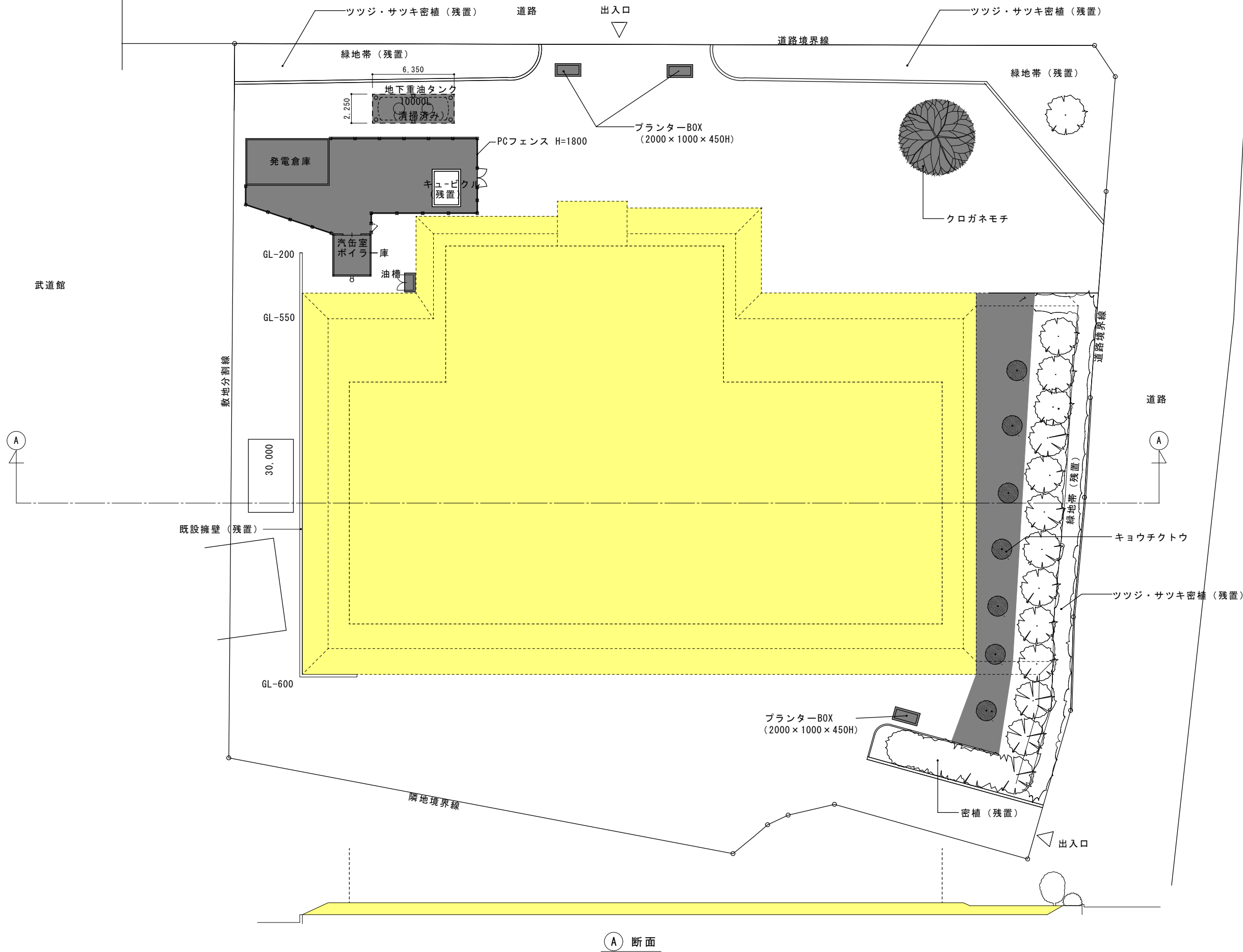
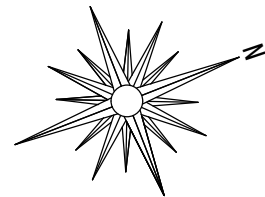


南立面図



東立面図





配置図 S=1:150

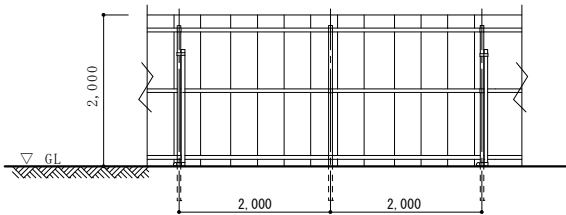
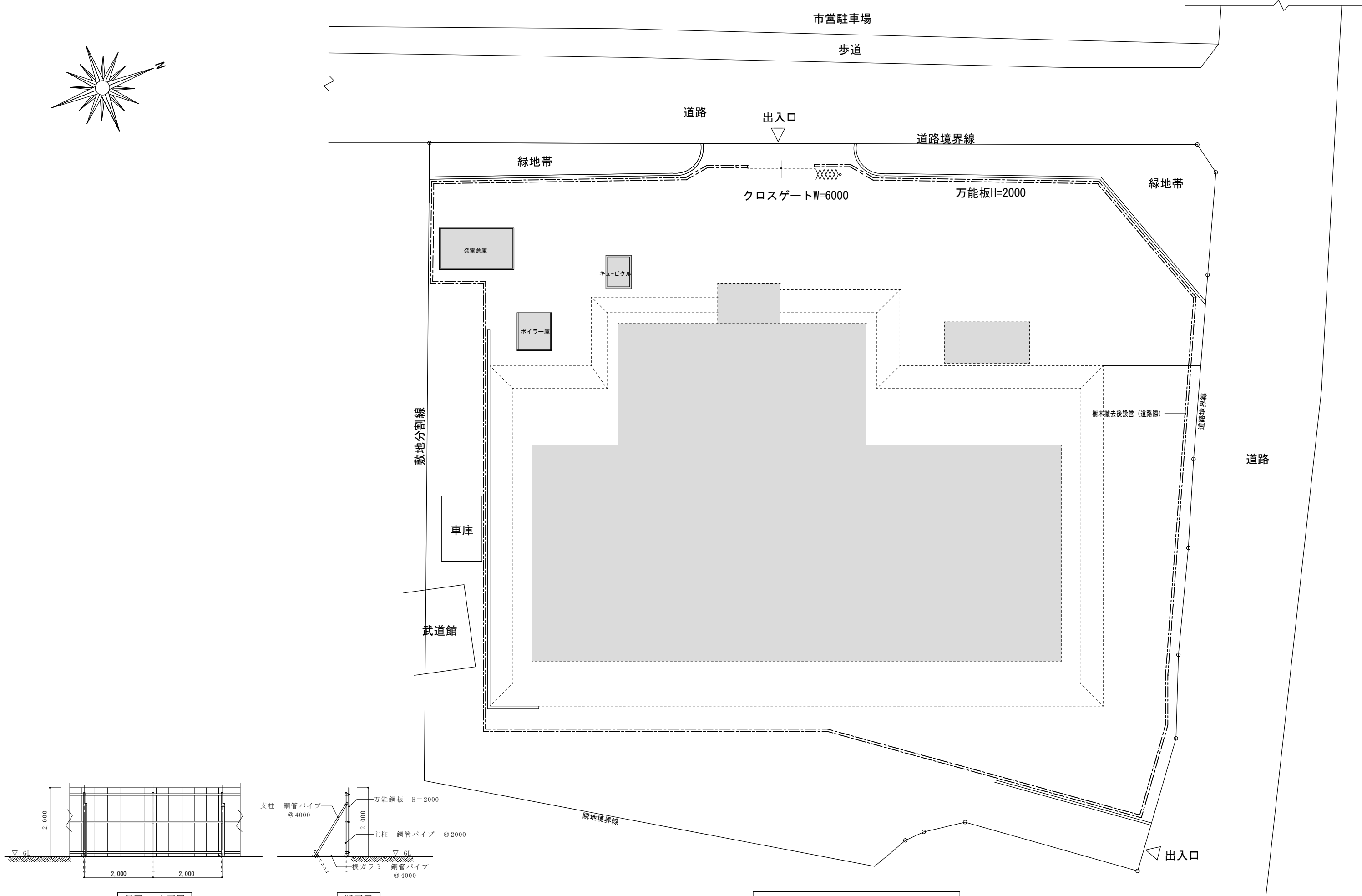
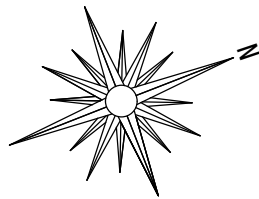
※着色部分・・・鉤取り範囲を示す
※着色部分・・・R 9 年度解体・撤去範囲を示す

株式会社 下舞設計 鹿児島市金生町 4 番 4 号 TEL 099-222-4114		承認 担当責任者 製図	作成年月日 縮尺 A1: 1/150 A3: 1/300	工事名称 B&G海洋センタープール解体工事 図面名称 外構図	一級建築士 日高 雅人 (登録番号 第 2 6 2 8 1 8 号)	区分 A B E M NO. 15 JOB NO.
---	--	----------------	------------------------------------	---	---------------------------------------	---------------------------------

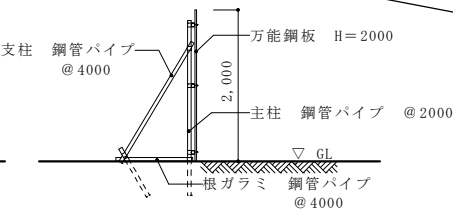
① 男子・女子ロッカー（10人用） 20台	② 書類棚 上下2段×2台	③ 工業用大型扇風機 2台	④ 樹脂製連結ベンチ 6脚×2	⑤ 金属製物置
				

⑤ 事務机(2)・長テ-ブル(2)・椅子(4)・キャビネット 450×1800 350×620×750	⑥ 業務用スチ-ルキャビネット 上385×620×700 下460×630×730 2台	⑦ 診察台 1台	⑧ ロッカー 900×520×1800 1台	⑨ ジョ-イントフロ- (置き敷タイプ) ≒70㎡
				

⑩ コ-スロ-プ	⑪ プ-ールフロ- (水深調節台) 6台	⑫ プ-ールク-リーナ-ロボ-ット 2台	⑬ ミストタンクキ-ット 2台	⑭ 流し台 1100×550 1台
				



仮囲い 立面図



断面図

配置図 S=1:150

株式会社 下舞設計 鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114	承認	作成年月日	工事名称	区分
担当責任者 製図	縮尺	A1: 1/150, 50 A3: 1/300, 100	B&G海洋センタープール解体工事	① B E M
	図面名称	仮設計画図	一級建築士 日高 雅人 (登録番号 第262818号)	NO. 17
				JOB NO.

特記事項

※文教施設協会が推奨する工法とする（登録番号 AS100124）

【アスベスト含有仕上塗材除去工事】

1. 集塵装置付き超高压水洗工法（100MPa以上）・同時吸引式

2. 1が使用できない場所は湿式集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法・同時吸引式（ウォータークリーンSG工法）

3. 狭巾部の1・2が使用できない場合は集塵装置併用手工具ケレン工法を併用可

4. 吸引機は吸引圧力-50～-90kpa・風量20～40立方メートル/minを使用

5. 除去作業付近にて気中濃度測定を行い、10 f /L以下を満たさない場合は、隔離養生（壁・床・天井）を行い、飛散対策とする。

【廃材処理】

※強力吸引車を使用した同時吸引式工法により徹去した塗膜と廃水を外気に触れることなく密閉状態で安全に集積・分別をする

※廃水はアスベスト50本/1L以下まで濾過し、SS600未満・PH5～9を遵守し第三者機関による水中分析測定を行い条件を満たしたことを確認後現地放流をする

※分別した塗膜はフレコンバックに集めたのちビニール袋で2重梱包し特別管理産業廃棄物として集積した後最終処理場にて処分する

※吸引時の排気ろ過はジェットスクラバー過方式を採用し大気へ開放する

水処理（廃水処理内容）	
アスベスト含有量	50本/1L以下
PH	PH5を超え9未満
浮遊物質質量（SS）	600mg/L未満

吸引装置の圧力と風量	
吸引圧力/真空圧	-50～-90kpa
風量	20～40m ³

吸引時の排気濾過	
ジェットスクラバ方式採用又は同等工法	

【アスベスト粉じん濃度測定】

測定時期	測定箇所	
処理作業前	敷地境界4方向各1点	合計 点
処理作業中	プラント設置付近（最も濃度が高くなる箇所） 除去作業付近1点	1点 合計2点
処理作業後	敷地境界4方向各1点	合計 点

※管理値等 大気汚染防止法 10 f /L以下

【同時吸引式プラント設置図（平面図）】

15m

ろ過装置

超高圧ポンプ車

吸引車

6m³

6m³

特別管理型産業廃棄物置き場

7～10m

※機材設置場所から除去面の最長距離は100m程度。
※機材設置位置は縦に1列縦列も可能。

アスベスト含有成形板・仕上塗材の対象物及び処理方法について（レベル3）

仕上建材共通

1. 既存内・外装材・仕上塗材における石綿含有の有無

・未調査（以下の既存仕上材について石綿含有の分析調査を行い、監督員に結果を報告すること。
石綿が含有されている場合は、施工範囲や工法等について監督員と協議すること。）

調査箇所（計 箇所）
使用箇所（ ）

2. 処理方法

・他の解体工事に先立ち、除去対象となる部材を湿潤化した後「手ばらし」により、破壊や粉砕しないように処理すること。

・処理にあたっては、養生シート等で区画養生し、飛散防止を図ること。

・撤去したアスベスト含有成形板・仕上塗材は、湿潤化の上、厚さ0.15mm以上のプラスチック袋詰め及び養生シートによる梱包等で飛散防止をする。（仕上塗材の場合は2重梱包）

・ケイ酸カルシウム板一種及び、電動工具による撤去については作業場をビニールシート等で隔離養生し、常時湿潤な状態に保たなければならない。

3. 安全衛生管理

・石綿則に定める「石綿作業主任者（特定化学物質作業主任者の中から選任）」が作業管理者となり、その作業管理者の指示に従って作業する。

・アスベスト含有成形板・仕上塗材の処理工事は、アスベストの解体等の作業にかかる石綿則を遵守すること。

又、作業者は就業時に石綿則第27条に基づく特別の教育を受けた者とする。

・使用器具・機械類等は、アスベスト含有成形板の除去に必要な工具・機器類等であること。
（防塵マスク・エアレス噴霧器・HEPAフィルター付真空掃除機等）

4. 集積・運搬・処分

・高所からの移動は、揚重機等を使用して、アスベスト含有成形板・含有塗材を高所から投下しないこと。

・除去したアスベスト含有の集積及び積込みは、廃棄物の積替え移動回数を最小限になるよう計画すること。

・アスベスト含有の運搬にあたっては、運搬車両の荷台全体をシート等で完全に覆い、飛散防止に努めること。

・マニフェスト票の備考欄に「アスベスト含有」であることを明示し、適正に処分すること。

※ 関係法令：改正石綿障害予防規則（石綿則）・大気汚染防止法

【アスベスト含有仕上塗材除去工事フロー図】

作業前 粉塵濃度測定

施工範囲の確認・除去塗膜の状況確認

床の養生（養生シート0.15mm※2重）

超高压洗浄機・強力吸引車・コンプレッサー装置の設置・試運転

高圧ホース・エアホース・集塵ホースのセット及び試運転

湿式集塵装置付きディスクグラインダーの準備

集塵装置併用手工具ケレン工法の準備

①集塵装置付き超高压水洗（100MPa以上）による仕上塗材の除去

※ウォータークリーン工法

（作業初日）
作業中 粉塵濃度測定

※除去作業付近にて管理値を満たさない場合は、隔離養生（壁・床・天井）を行い、飛散対策とする。

上記工法で除去出来ない箇所は、
②（湿式）集塵装置付きディスクグラインダーケレン工法による除去

※ウォータークリーンSG工法

※プラント付近にて管理値を満たさない場合は、飛散対策を行い、再度粉塵濃度測定を行い、管理値を満たすまで行う。

上記工法で除去出来ない場合箇所は、③集塵装置併用手工具ケレン工法

除去したアスベストの処理

真空状態のまま水と固形物を分離後フレコンバックに梱包した状態で排出

廃水の処理

アスベスト1L/50本以下までろ過後現地放流（SS600未満・PH5～9）

除去したアスベストの搬出

床部養生シートの撤去

廃石綿・養生シート等の廃棄物の搬出

作業後 粉塵濃度測定

【除去したアスベスト等の保管、運搬、処分等】

除去したアスベスト含有材等を搬出するまでの間現場に保管する場合は、一定の保管場所を定め、他の建設副産物等と分別して保管するものとし、シートで覆うなど飛散防止措置を講じる。また、保管場所にはアスベスト等の保管場所であることを提示する。

アスベスト含有材等の運搬車及び運搬容器は、アスベスト含有材等が飛散及び流出するおそれのないものとする。

また、運搬車の荷台に覆いをかけるなど飛散防止措置をこうずる。

除去したアスベスト含有材の処分は特別管理産業廃棄物として、管理型最終処分場の一定の場所で埋め立て処分する

株式会社 下舞設計

鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114

承認

担当責任者 製図

作成年月日

縮尺 A1：1／300
A3：1／600

工事名称

B&G海洋センタープール解体工事

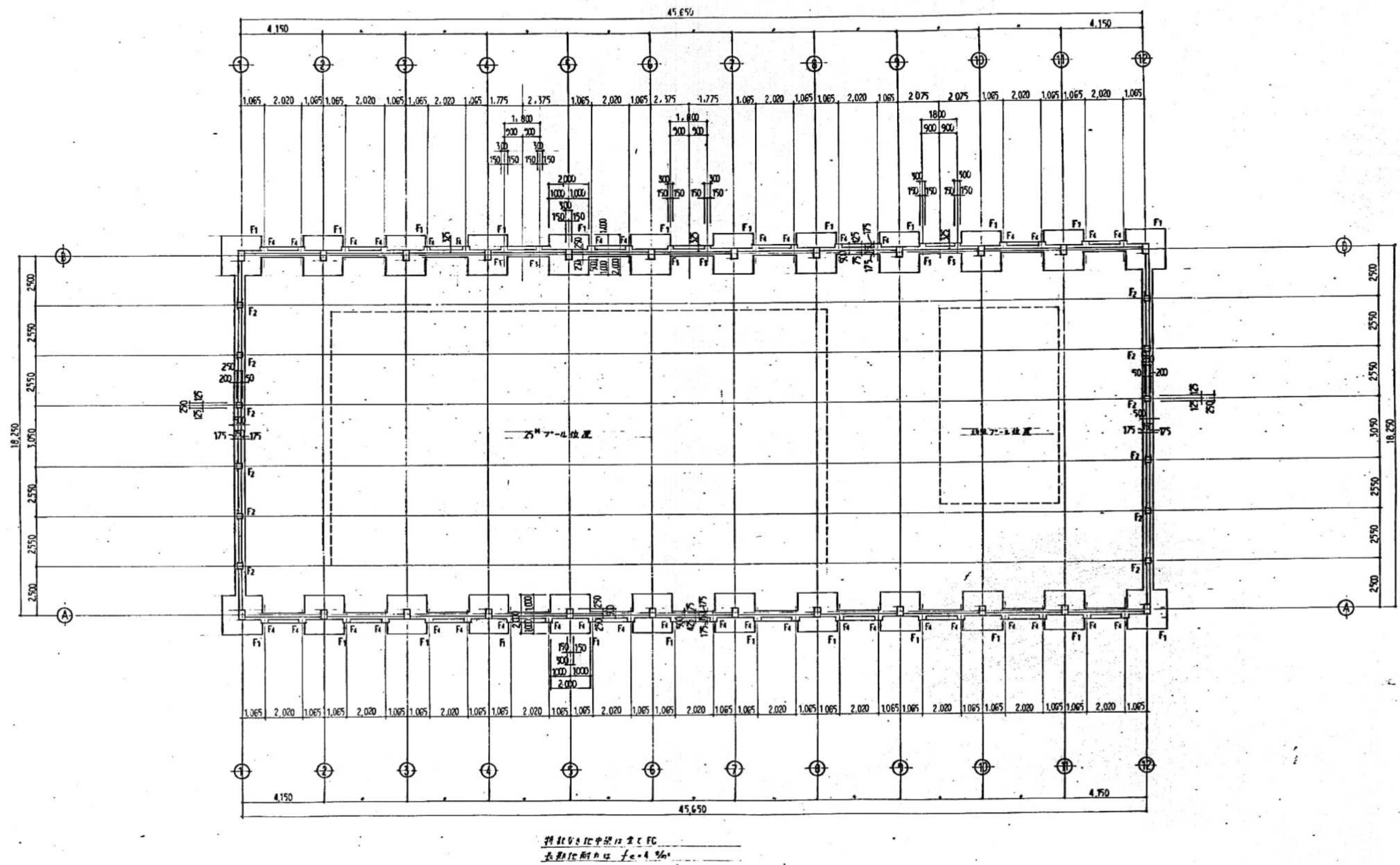
一級建築士 白高 雅人

（登録番号 第262818号）

区分 ① B E M

NO. 18

JOB NO.



株式会社 下舞設計
鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114

承認

担当責任者

製図

作成年月日

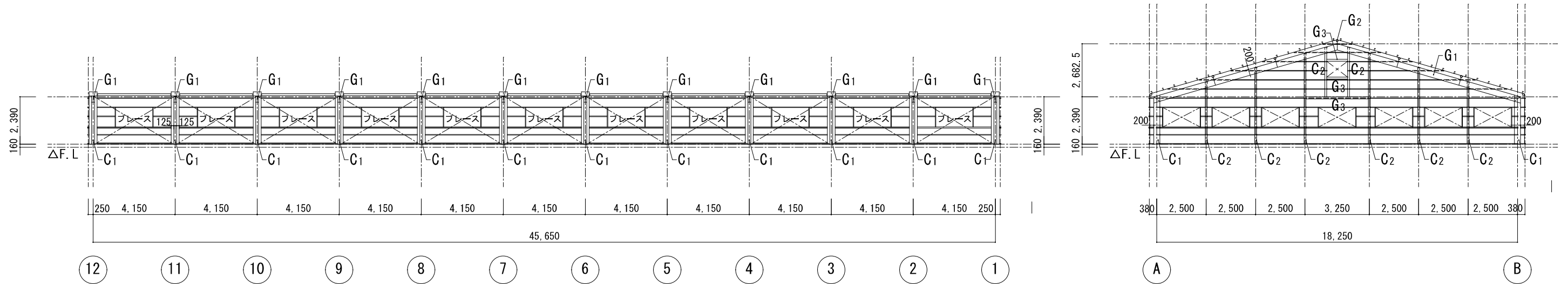
縮尺 A1: 1/100
A3: 1/200

工事名称 B&G海洋センタープール解体工事

図面名称 基礎伏図(プール棟)

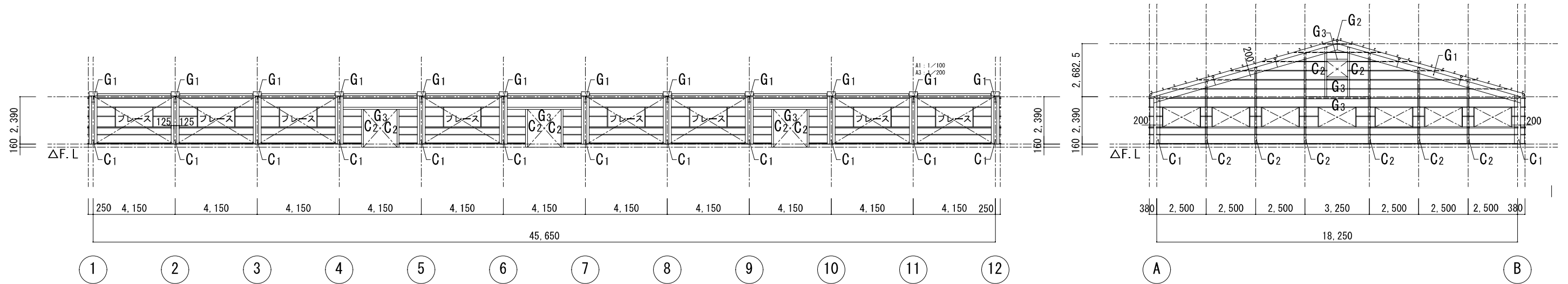
一級建築士 日高 雅人
(登録番号 第262818号)

区分 A ⑤ E M
NO. 01
JOB NO.



A 通り 軸 組 図 S=1 : 200

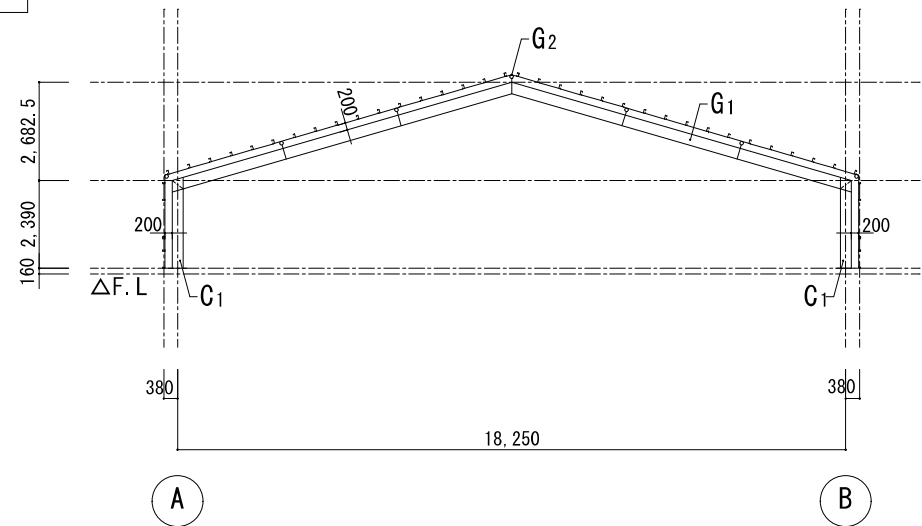
1通り軸組図 S=1 : 200



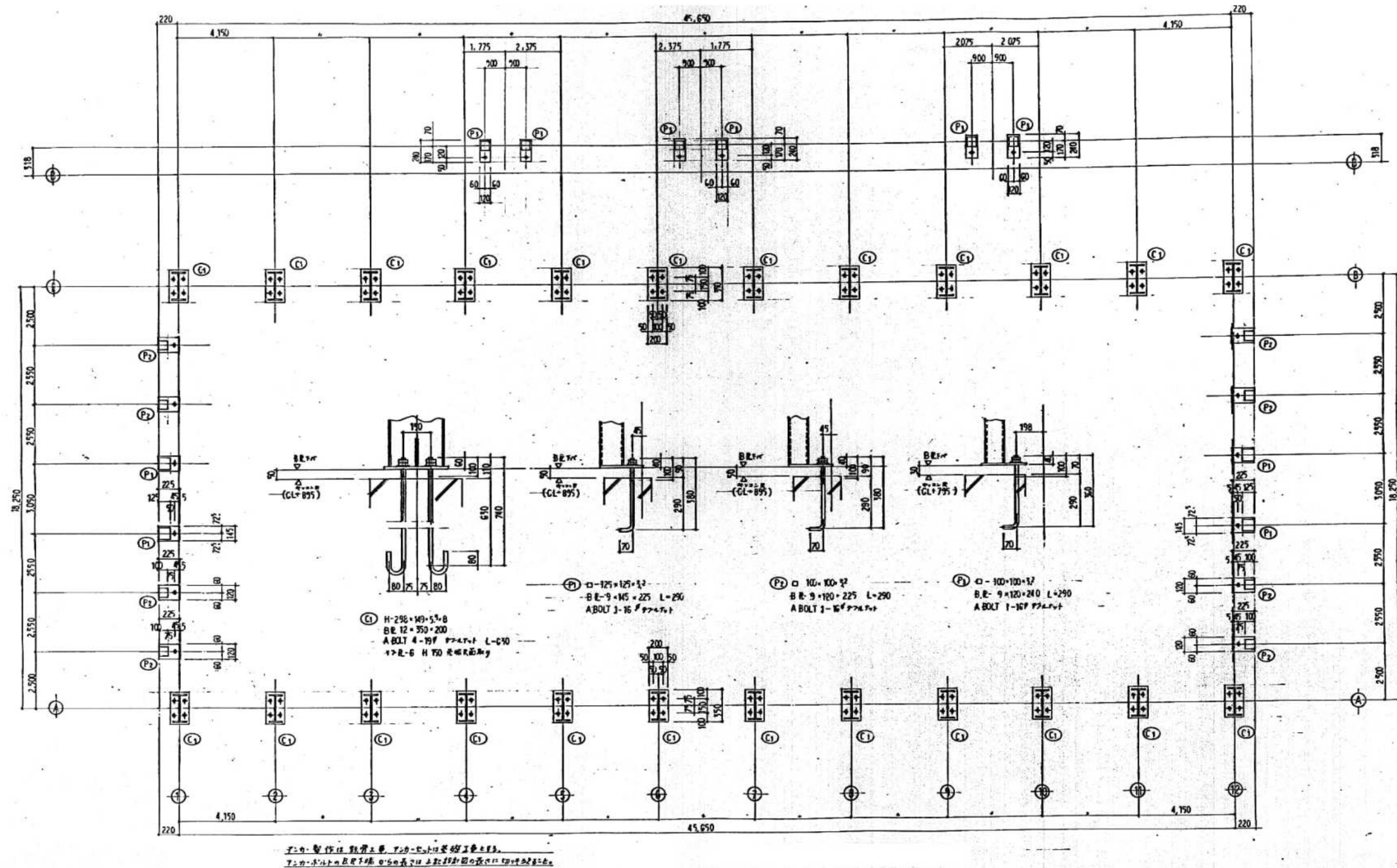
B 通り 軸 組 図 S=1 : 200

12通り軸組図 S=1 : 200

C ₁	H-300×150×6.5×9
C ₂	□-100×100×3.2
G ₁	H-300×150×6.5×9
G ₂	100φ×3.2
G ₃	□-100×100×3.2
母屋	C-100×50×20×2.3@600
胴縁	□-60×30×2.3 (亜鉛メッキ)
開口部	□-60×60×2.3 (亜鉛メッキ)



軸 組 図 2 S=1 : 200



アンカー伏図 S=1:100



株式会社 下舞設計
鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114

承認

担当責任者

製図

作成年月日

縮尺

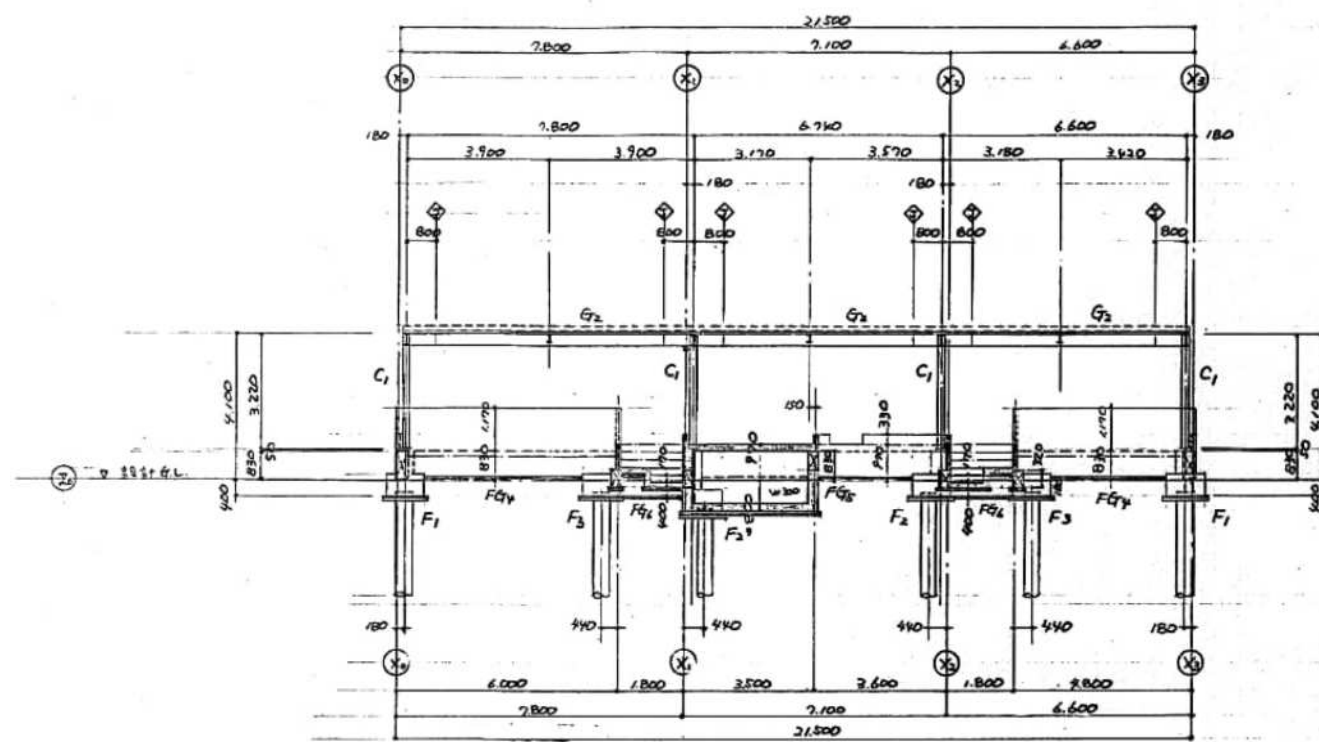
A1: 1/100
A3: 1/200

工事名称 B&G海洋センタープール解体工事

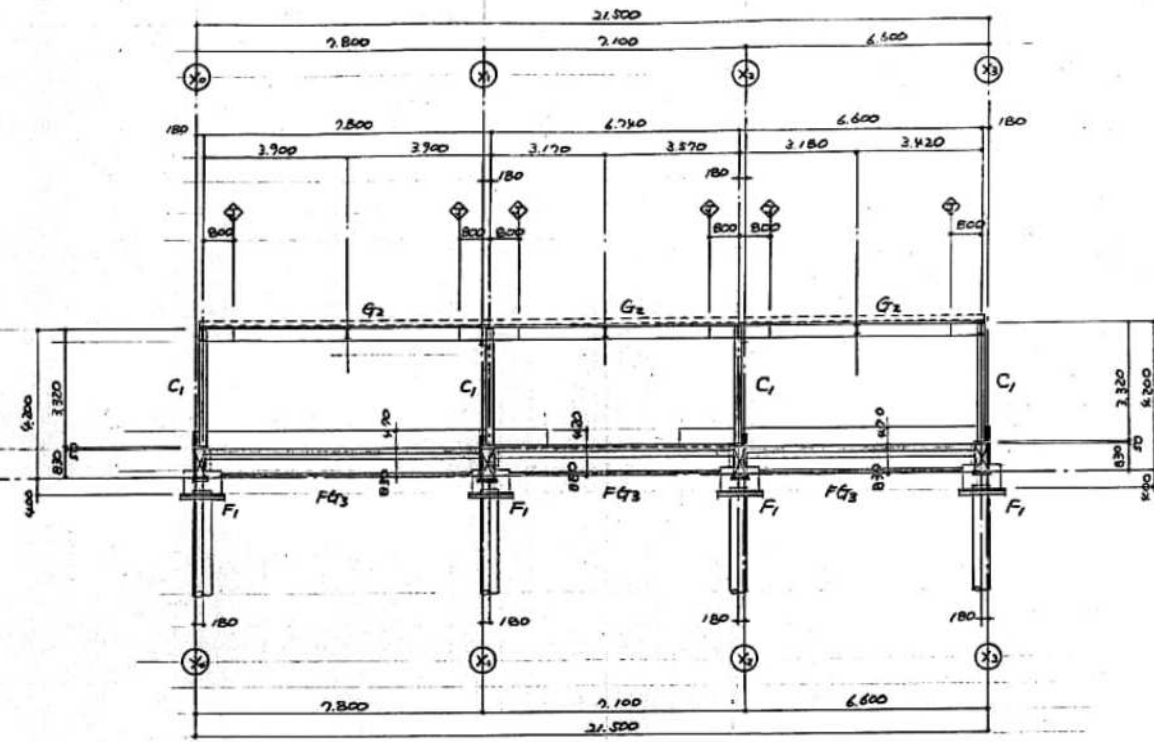
図面名称 アンカー伏図 (プール棟)

一級建築士 日高 雅人
(登録番号 第262818号)

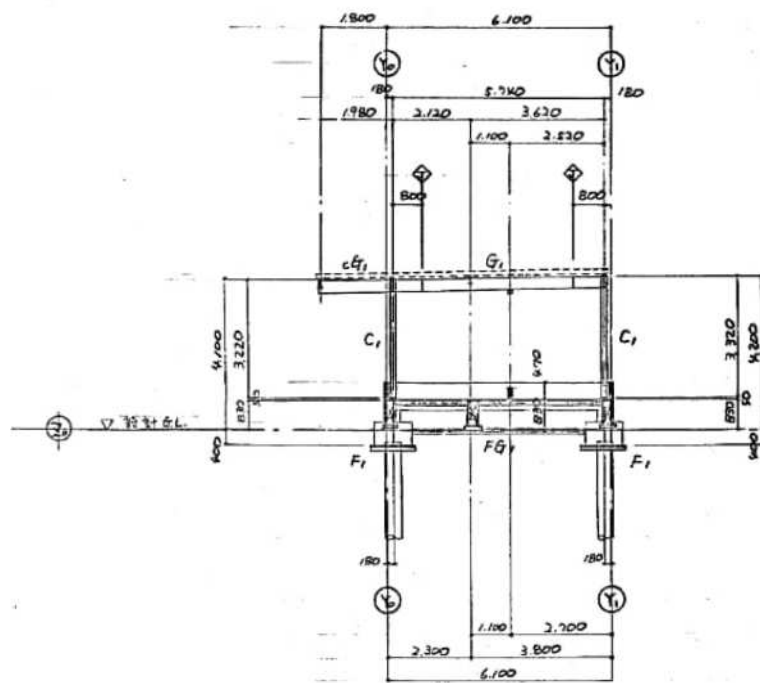
区分 A ③ E M
NO. 05
JOB NO.



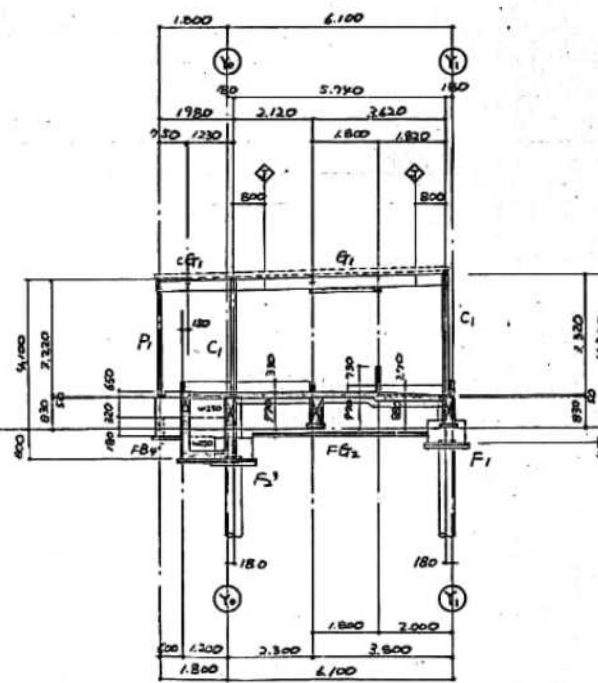
(1) 通り 車庫組図 1:100



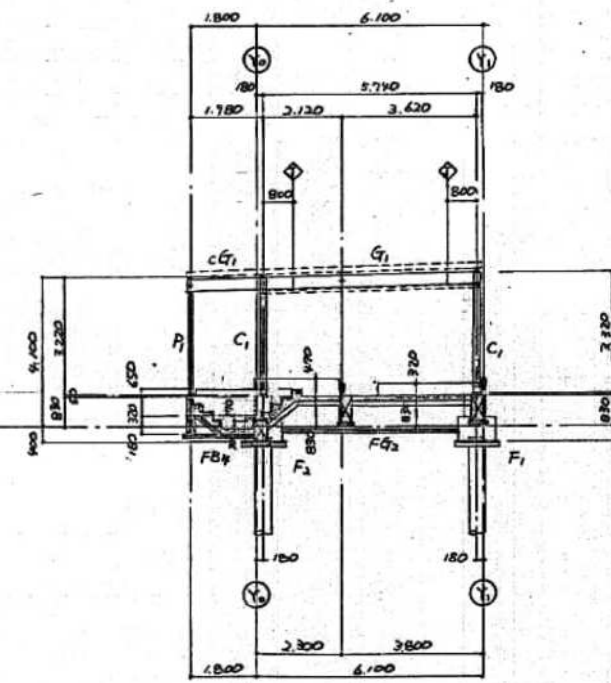
(1) 通り 車庫組図 1:100



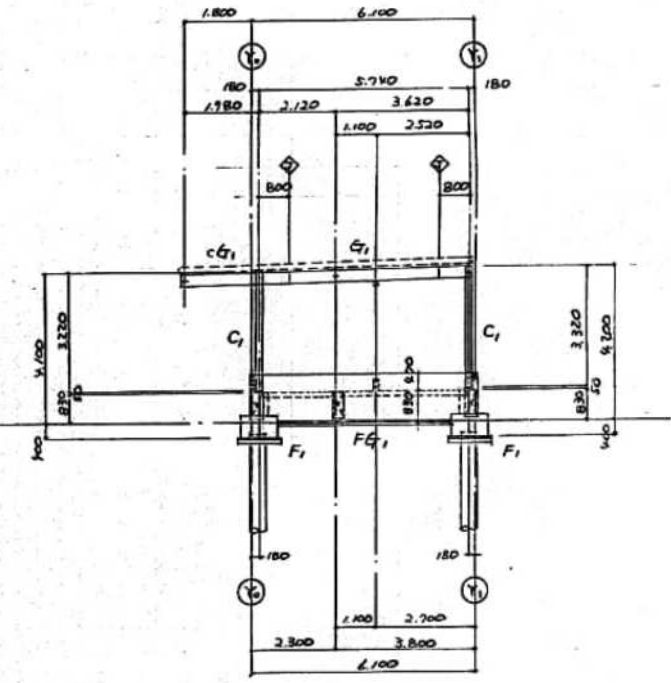
(2) 通り 車庫組図 1:100



(2) 通り 車庫組図 1:100



(2) 通り 車庫組図 1:100



(2) 通り 車庫組図 1:100



株式会社 下舞設計
鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114

承認

担当責任者

製図

作成年月日

縮尺

A1: 1/100
A3: 1/200

工事名称

B&G海洋センタープール解体工事

図面名称

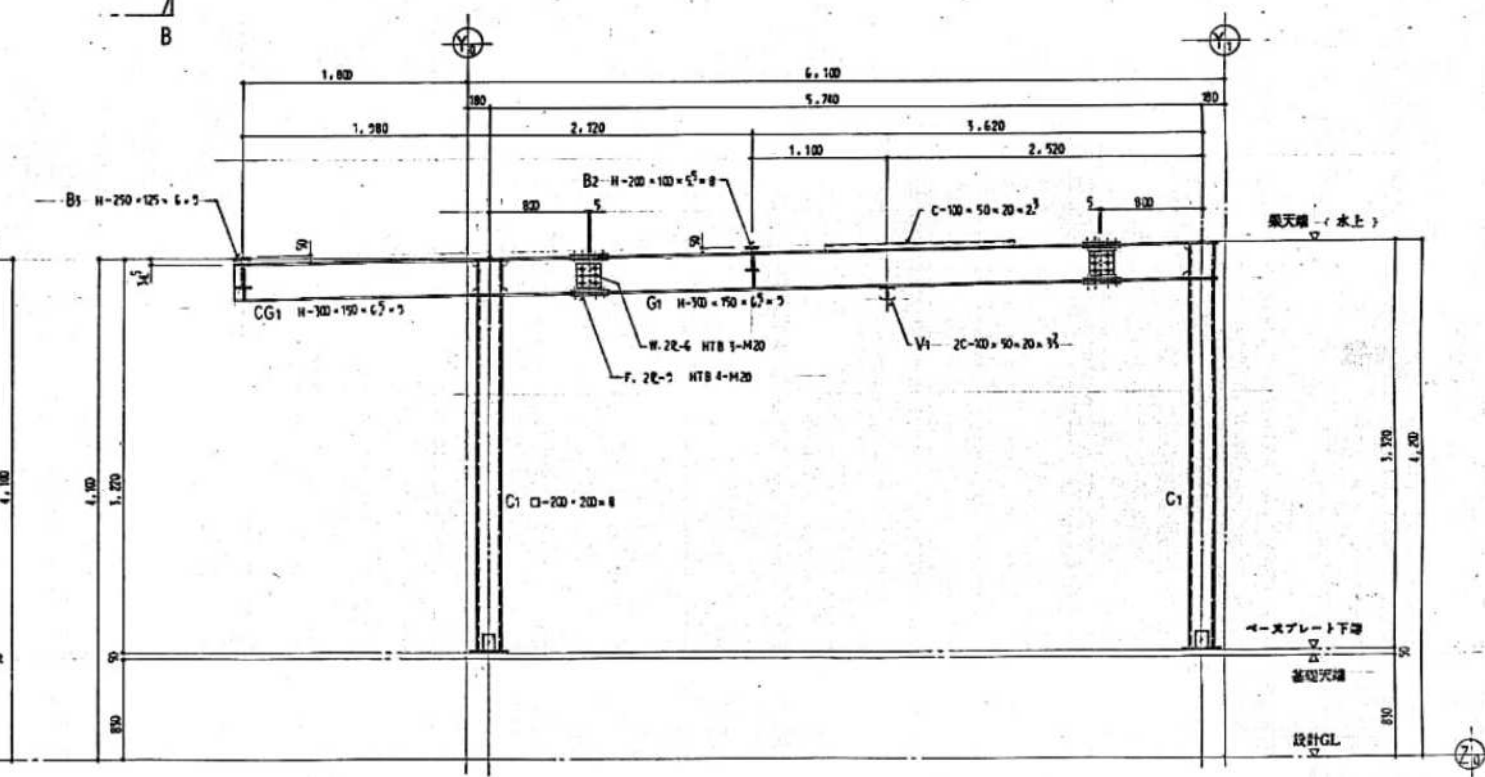
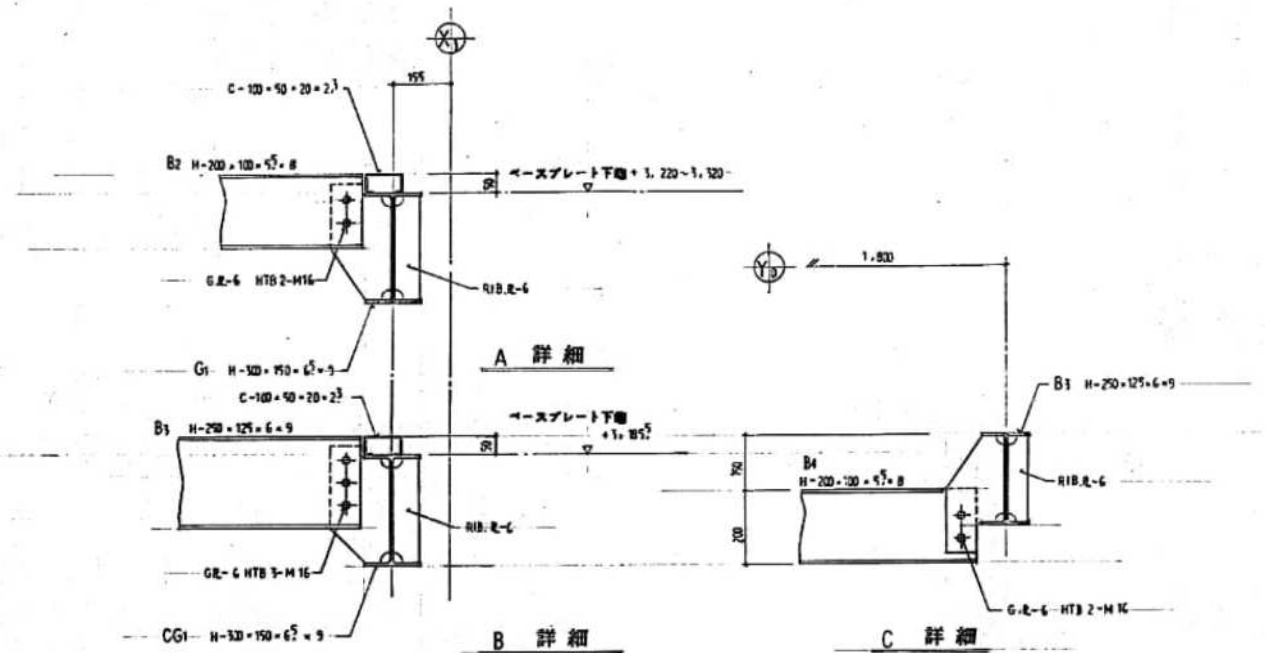
軸組図 (更衣室棟)

一級建築士 日高 雅人
(登録番号 第262818号)

区分 A ③ E M

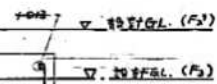
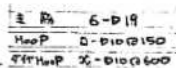
NO. 06

JOB NO.



(X) 通り鉄骨詳細 S 1/30

1:30



五、四、三、二、一、点火

F_2 の事は片側4へ偏心して F_1 と見て解く

1:30

止め 1000

序 号	FB ₃	FB ₃	FB ₅	FB ₄
面 积	全 面 积	全 面 积	全 面 积	全 面 积
b × d	250 × 500	250 × 500	250 × 500	200 × 500
上 纵 筋	3 - Ø19	3 - Ø19	3 - Ø19	3 - Ø16
下 纵 筋	2 - Ø19	2 - Ø19	2 - Ø19	2 - Ø16
腹 筋				
拉 筋	Ø10 @ 250	Ø10 @ 200	Ø10 @ 250	Ø10 @ 250
备 注				

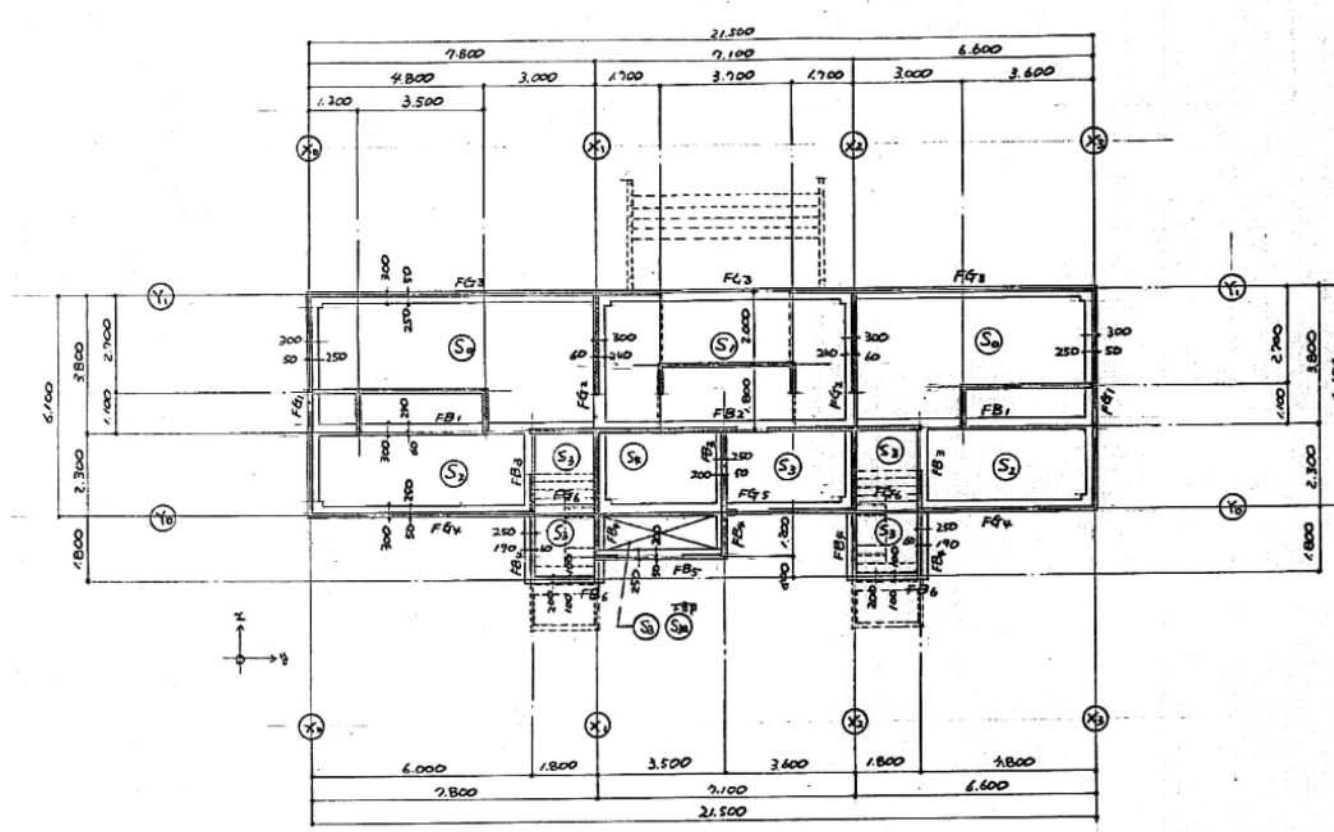
1:30

市仁義路 219001.000

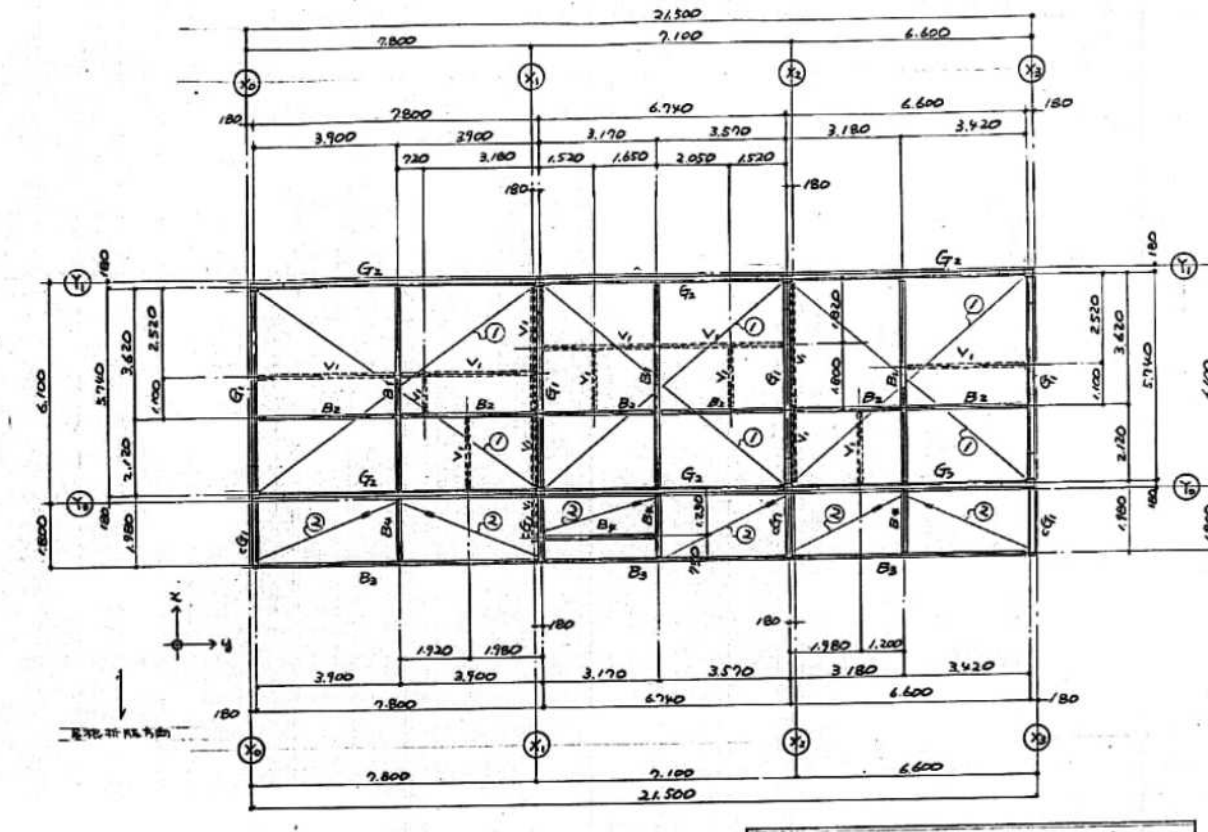
号	FQ ₁		FQ ₂		FQ ₃		FQ ₄		FQ ₅		FQ ₆
正分	2K	中 央	2K	中 央	2K	中 央	2K	中 央	2K	中 央	全 断 面
b × D	300 × 800		200 × 900		300 × 700		300 × 700		300 × 700		300 × 570
上 2K 中	3 - D19	3 - D19	4 - D19	4 - D19	4 - D19	3 - D19	4 - D19	2 - D19	4 - D19	3 - D19	4 - D19
下 2K 中	3 - D19	5 - D19	4 - D19	7 - D19	3 - D19	3 - D19	2 - D19	3 - D19	3 - D19	4 - D19	3 - D19
中 中	2 - D10		3 - D10		2 - D10		2 - D10		2 - D10		2 - D10
下 2K 中	D10 @ 200		D10 @ 150		D10 @ 200		D10 @ 200		D10 @ 200		D10 @ 200

1:30

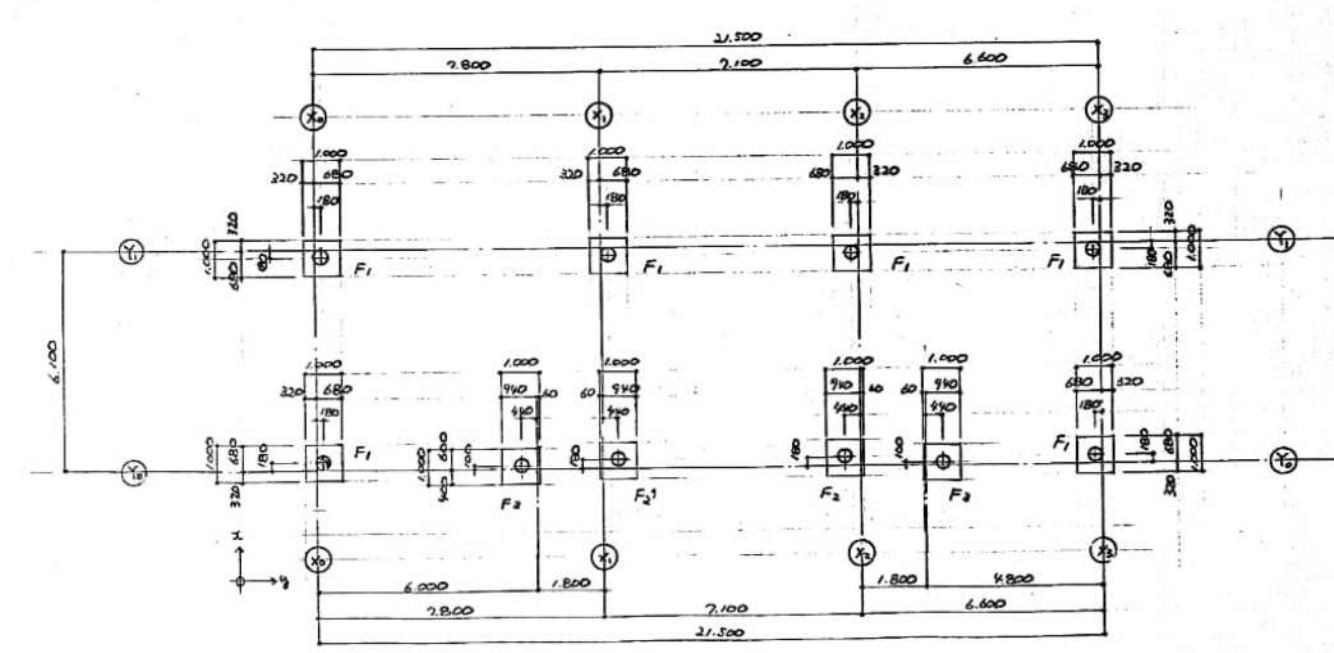
管 号	CB120	W120	W150	W300
管 面				
管 口 内 径	Φ100 (B 400)	Φ100 (B 300)	Φ100 (B 200)	Φ100 (B 200)
管 口 外 径	Φ100 (B 600)	Φ100 (B 300)	Φ100 (B 200)	Φ100 (B 200)
管 口 内 径	—	—	Φ100 (B 200)	Φ100 (B 200)
管 口 外 径	1-Φ13	1-Φ13	2-Φ16	2-Φ16



基礎伏図 1:100



屋根伏図 1:100



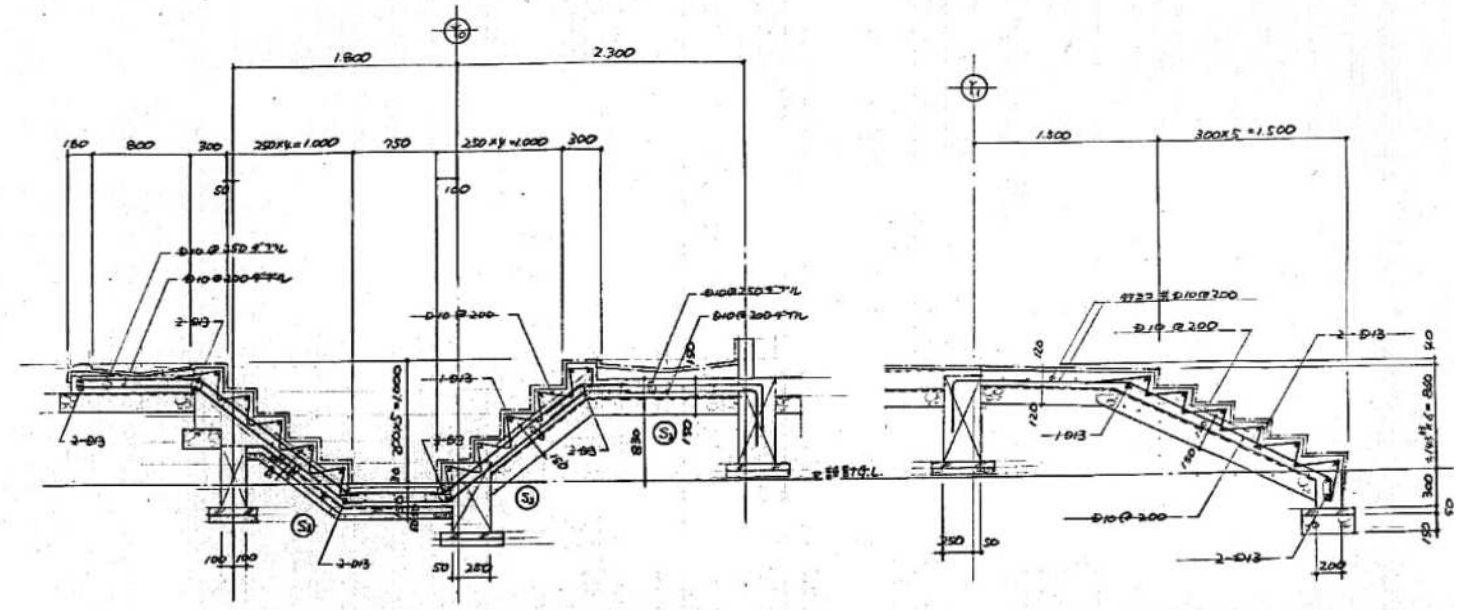
鉄筋伏図 1:100

1. 杭地盤 P.C 管付 杭 A種 300-440 設計用長期支持力 $R_a = 45 \text{ t/本}$
 木か-併用 (最終工事は打込み)
 試験杭 2 本 $L = 20 \text{ m}$ (10 + 10)
 一般杭 8 本 $L = 19 \text{ m}$ (9 + 10)
2. 砂利地盤 基礎底下 50 基礎 257 下 100, 150
3. コンクリート 捨てコンクリート $f_c = 135 \text{ kg/cm}^2$ 2527 15 躯体コンクリート $f_c = 210 \text{ kg/cm}^2$ 2527 15
4. 鉄筋 SD30 (D10, D13, D16, D19)
5. 鉄骨 SS41, SSC41, STKR41, SR2K HTB F10T (M16, M20)

ス ラ フ リ ス ト

(注) スラフ厚は、配筋位置につき打端厚は含まない。

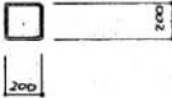
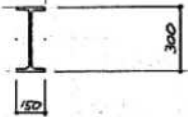
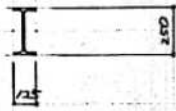
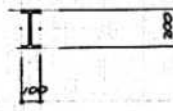
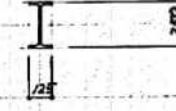
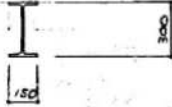
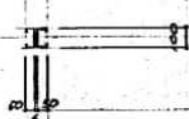
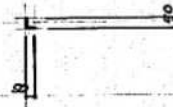
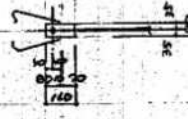
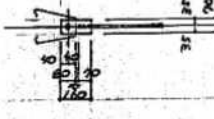
符号	スラフ厚	位置	短辺方向			長辺方向		
			柱間帯		柱列帯	柱間帯		柱列帯
			端部	中央		端部	中央	
S ₀	150	上階床	φ10-φ13 @150	φ10 @300	φ10 @200	φ10 @150	φ10 @300	φ10 @300
		下階床	φ10 @300	φ10-φ13 @150	φ10 @200	φ10 @300	φ10 @150	φ10 @300
S ₁	150	上階床	φ10-φ13 @150	φ10 @300	φ10 @300	φ10 @200	φ10 @400	φ10 @300
		下階床	φ10 @300	φ10-φ13 @150	φ10 @300	φ10 @400	φ10 @400	φ10 @300
S ₂	150	上階床	φ10 @200	φ10 @400	φ10 @300	φ10 @250	φ10 @500	φ10 @300
		下階床	φ10 @400	φ10 @200	φ10 @300	φ10 @500	φ10 @250	φ10 @300
S ₃	150	上階床	φ10 @200	←	←	φ10 @250	←	←
		下階床	φ10 @200	←	←	φ10 @250	←	←
S ₄	150	上階床	φ10-φ13 @200	←	←	φ10 @200	←	←
		下階床	φ10-φ13 @200	←	←	φ10 @200	←	←
S _{5a}	200	上階床	φ10 @200	←	←	φ10 @250	←	←
		下階床	φ10 @200	←	←	φ10 @250	←	←



階床スラブ配筋詳細図 1:30

土間階階段配筋詳細図 1:30

鉄骨部材リスト 1:20

符号	C ₁	C ₂ , G ₂	B ₁	B ₂	B ₃	B ₄
形状						
主材	D-200x200x8	H-300x150x6.5x9	H-250x125x6x9	H-200x100x5.5x8	H-250x125x6x9	H-200x100x5.5x8
	BR-16x300x300 A Bolt 4-M20 R=600	9FR-9, 12FR-9 HTB 4-M20	GR-6 HTB 3-M16	GR-6 HTB 2-M16	GR-6 HTB 3-M16	GR-6 HTB 2-M16
	57x14x7x1	2WR-6 HTB 3-M20				
符号	C ₂	V ₁	ア-ス①	ア-ス②	ア-ス③	
形状						
主材	H-300x150x6.5x9	2B5-100x50x20x3.2	L-50x50x6	L-50x50x6	L-50x50x6	
	端部溶接	GR-6 SS41 2-M12	GR-6 HTB 3-M16	GR-6 HTB 1-M16	GR-6 HTB 1-M16	
		311-R-6x70x70 SS41 1-M12 @900		7B335 R-6x70x160	2B335 R-6x70x160	
符号	P ₁					
形状						
主材	D-101.6x3.2		h=150 t=5.0			
	TnP R-6x120x280 SS41 2-M12					
	BR-9x120x280 A Bolt 2-M16 L=300 57x14x7x1					



株式会社 下舞設計
鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114

承認
担当責任者 製図

作成年月日
縮尺 A1: 1/30
A3: 1/60

工事名称 B&G海洋センター艇庫解体実施設計
図面名称 鉄骨部材リスト・スラブリスト (更衣室棟)

一級建築士 日高 雅人
(登録番号 第262818号)

区分 A ⑤ E M
NO. 10
JOB NO.

工事名称	B&G海洋センタープール解体工事
工事場所	鹿児島県南九州市知覧町郡地内
主要用途	屋内プール

記 号	名 称	今回の作業
	ハンドホール	既存のまま
㊦	汚水樹	蓋撤去
㊧	排水拵	蓋撤去
㊨	消防隊専用採水口	撤 去

敷地面積	公簿 3634.85 m ² 1099.54 坪
用途地域	都市計画区域内 指定なし

・鉄骨造平屋建て	建築面積	1,092.53 m ² (330.49坪)	最高の高さ	5.479 m
	床面積	1,092.53 m ² (330.49坪)		

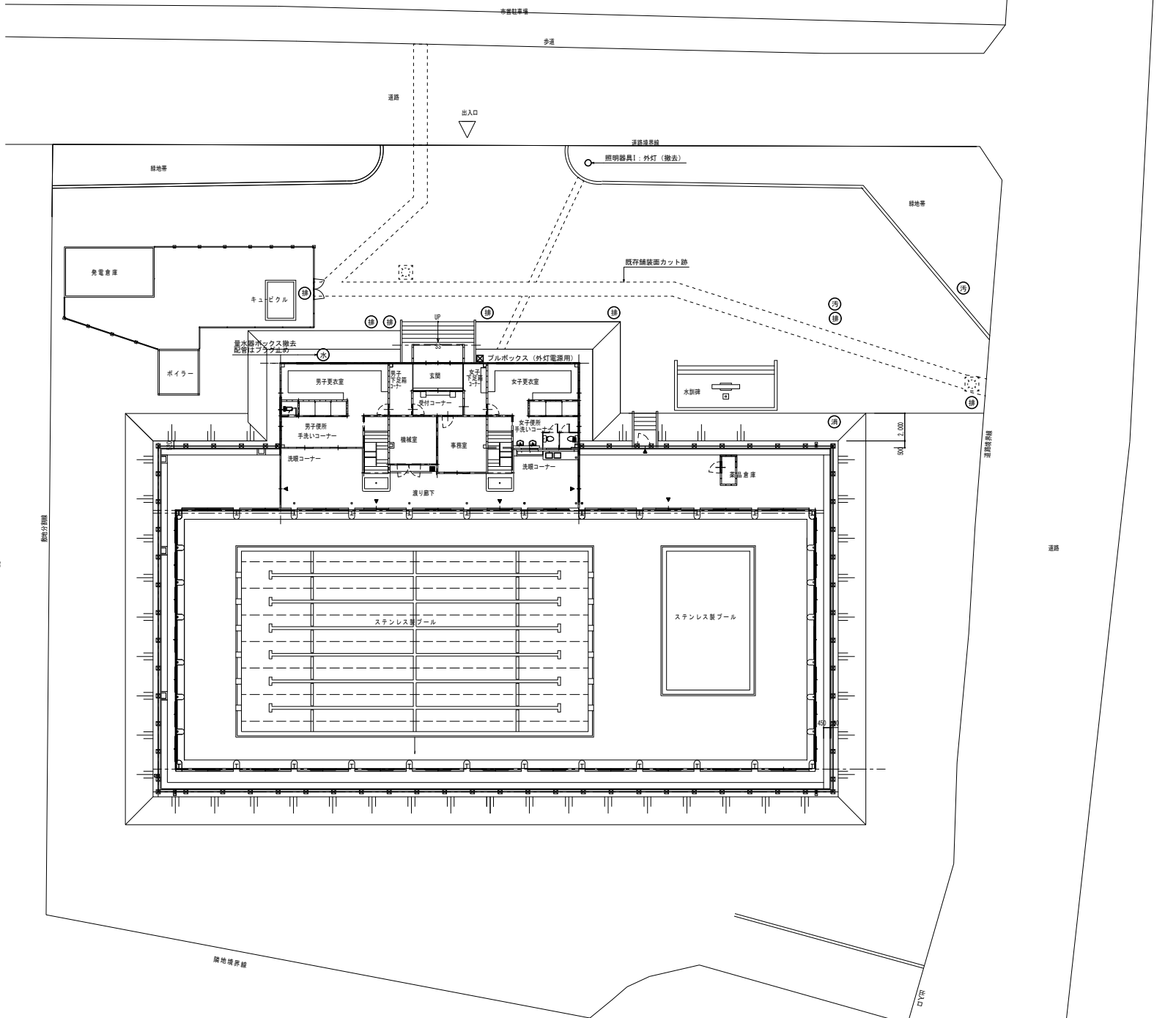
注1) 電気ハンドホールは施設全体の電気配管で使用しているため、既存のままとする。

注2) 地中埋設配管は既存のままとする。(外構掘取り約200程度のため)

注3) 図示以外でも、現場において当然撤去が必要と思われる機器等については、監督職員と協議の上適切に処置を行うこと。

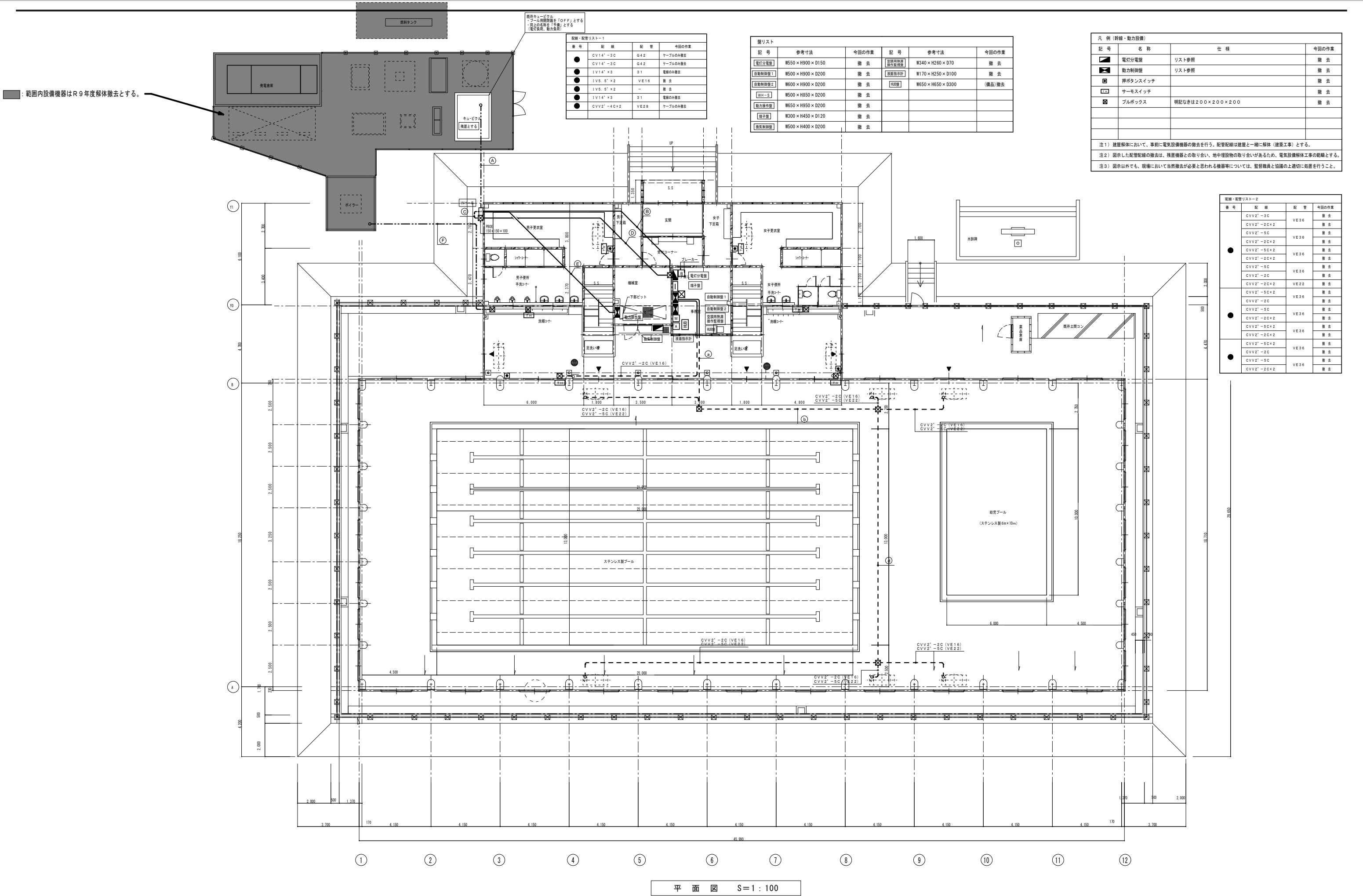
	仕 上
屋 根	更衣室棟：折板 S-60 70.8 (着色亜鉛鉄板) ポリエチレンフォーム 75 裏打 笠木：アルミ既製品 幅150 プール棟：FRP小波スレートタイプ 一部補修ヶ所：ポリカーボネート小波板t=1.0
外 壁	更衣室棟：外部ALC 7100 防水タイプ 弾性アクリルリシン吹付 プール棟：FRP小波スレートタイプ コーナー：ガルバリウム鋼板t=0.4
軒 裏	更衣室棟：折板表し SOP吹付 プール棟：FRP波板表し
巾 木	更衣室棟：コンクリート打ち放し H=300 プール棟：コンクリート打ち放し
樋	軒樋：カラー鉄板 70.8加工 縦樋：カラー鉄板 硬質塩ビパイプ100φ VP
消毒階段 床・腰	渡り廊下：防水モルタル金鍍押え ノンスリップ磁器タイル W60

室 名	床	巾 木	壁	天井	廻 縁	C H	備 考
玄 関	モルタル金鍍押え 一部防滑性シート貼	モルタル金コテ	モルタル金コテ	LGS下地 既存天井材 (?) 目透しOP	塩ビ	2300	
受付コーナー	モルタル金鍍押え 防塵シート塗装	同上	モルタル金コテ 730 VP	同上	塩ビ	2500	
事務室	同上	同上	ALC部分： LGS部分：	同上	塩ビ	2500	
機械室	同上	同上	ALC部分： CB部分：モルタル金コテ VP	同上	塩ビ	2750	
男子更衣室	同上	同上	ALC部分： LGS部分：	同上	塩ビ	2600	
男子シャワーコーナー	同上	同上	モルタル金コテ 730 VP	同上	塩ビ	2600	
男子便所	モルタル金鍍押え 730	同上	ALC部分： CB部分：モルタル金コテ VP	同上	塩ビ	2600	トイレブース撤去
男子下足箱コーナー	同上	同上	ALC部分： CB部分：モルタル金コテ VP	同上	塩ビ	2300	木製下足箱撤去
女子更衣室	同上	同上	ALC部分： LGS部分： CB部分：モルタル金コテ VP	同上	塩ビ	2600	
女子シャワーコーナー	同上	同上	CB部分：モルタル金コテ VP	同上	塩ビ	2600	
女子便所	モルタル金鍍押え 730	同上	CB部分：モルタル金コテ VP	同上	塩ビ	2600	トイレブース撤去
女子下足箱コーナー	同上	同上	ALC部分： CB部分：モルタル金コテ VP	同上	塩ビ	2300	木製下足箱撤去
渡り廊下・足洗い場	300×300×30 コンクリート平板ブロック	同上	ALC部分： CB部分：モルタル金コテ VP	FRP 小波タイプ			コースロープ
プールサイド	同上		FRP 小波タイプ張り 柱脚：モルタル立上り(R付)の上 ウレタン樹脂塗装	FRP 小波タイプ			
プール内	ステンレス?						



配置図 $S=1:200$

		 株式会社 下舞設計 鹿児島市金生町4番4号 TEL 099-222-4114	承認	作成年月日	工事名称	区分 A B ◎ M NO. 01 (登録番号 第262818号) JOB NO.
			担当責任者 製図	縮尺 A1: 1/200 A3: 1/400	図面名称 (プール)屋外配置図	



番 号	配 線	配 管	今回の作業
●	CV3 5' - 3C	PE28	撤 去
	CV3 5' - 3C	PE28	撤 去
	CV3 5' - 3C	PE28	撤 去
	CVV2' - 2C		撤 去
●	1V2 0×4	PE28	撤 去
●	1V2 0×7	PE28	撤 去
●	1V2 0×8	PE28	撤 去
●	1V2 0×10	PE28	撤 去
---	1V2 0×3	PE28	撤 去



凡 例（電灯・電灯・コンセント設備）			
記 号	名 称	仕 様	今回の作業
	電灯分電盤	リスト参照	撤 去
●	スイッチ		撤 去
	誘導灯		撤 去
①	コンセント		撤 去
① _{ET}	コンセント	接地付	撤 去
① _{sp}	コンセント	防水型	撤 去
②	コンセント	引掛型	撤 去
	サーモスイッチ		撤 去
	ブルボックス	明記なきは200×200×200	撤 去
	カバープレート		撤 去
	スピーカー		撤 去
	各種スイッチ	ファンコイルユニット用	撤 去
			撤 去
			撤 去
			撤 去
			撤 去
			撤 去

注1）建屋解体において、事前に電気設備機器の撤去を行う。配管配線は建屋と一緒に解体（建築工事）とする。

注2）図示した配管配線の撤去は、ブル建材を撤去する前に撤去が必要と思われる（P管）ため、電気設備解体工事の範疇とする。

注3）図示以外でも、現場において当然撤去が必要と思われる機器等については、監督職員と協議の上適切に処置を行うこと。

撤去器具リスト

品 名	部屋名称											合 計	備 考
	男子更衣室	男子便所	男子シャワー	女子更衣室	女子便所	女子シャワー	洗面	足洗い場	事務室	プール			
和風便器		1			2							3	水栓共
小便器		3										3	FV
洗面器		3			2							5	水栓共
水栓							6	2	1			9	
シャワー水栓							6					6	
シャワーセット			3			3						6	
眼洗い水栓							6					6	プラグ止め（撤去なし）
化粧鏡		3			2							5	
壁扇 (100cm)										2		2	ウェザーカバー共
壁扇 (30cm)	1	1		1	1							4	ウェザーカバー共
ファンコイルユニット	1			1			2			6		10	

機械設備 凡例表		
記 号	名 称	今回の作業
✕	水栓	撤 去
▲	シャワー水栓	撤 去
✕▲	シャワーセット	撤 去
⊗	壁扇 (30cm)	撤 去
⊙	壁扇 (100cm)	撤 去
■	ファンコイルユニット W1400D50H250	撤 去
—	ファンコイル用配管 SGP50A (注) ※SUSラッキング	撤 去
—	ファンコイル用配管 SGP50A (便) ※SUSラッキング	撤 去

- 注1) 建屋解体において、事前に機械設備機器の撤去を行う。配管は建屋と一緒に解体（建築工事）とする。
- 注2) 図示した配管の撤去は、残置機器との取り合い、地中埋設物の取り合いがあるため機械設備解体工事の範疇とする。
- 注3) 図示以外でも、現場において当然撤去が必要と思われる機器等については、監督職員と協議の上適切に処置を行うこと。

